

平成 30 年 度

事 業 報 告 書

社 会 福 祉 法 人

草 加 市 社 会 福 祉 事 業 団

目 次

総 括	・・・	1 頁
事 務 局	・・・	4 頁
草加市立養護老人ホーム松楽苑	・・・	11 頁
草加市障害福祉サービス事業所つばさの森	・・・	20 頁
草加市総合福祉センターであいの森	・・・	29 頁
草加市在宅福祉センターきくの里	・・・	46 頁
草加市高齢者福祉センターふれあいの里	・・・	62 頁
草加市障害者グループホームひまわりの郷	・・・	69 頁
障害者総合支援センター	・・・	75 頁
生活介護事業所そよかぜの森	・・・	85 頁

当事業団は、これまで30年にわたり培ってきた福祉サービスの経験を活かしながら積極的な福祉サービスの展開を図り、利用者本位のサービス提供及び地域福祉の向上・発展に努めてまいりました。

また、当事業団の主要資源である人とその能力などを最大限に有効活用する中で、草加市と一体となって各施設・事業所において利用者ニーズに沿った安心・安全な福祉サービスの提供ができれば、その支援体制の整備・確立に努めました。

平成30年度の主な取組みとしては、12月16日（日）に法人設立30周年の記念式典をアコスホールにて開催しました。当事業団に長年に渡り貢献いただいた方々への表彰式や記念講演として野田聖子衆議院議員をお招きし盛大に開催することができました。

また、中長期的な視点における法人の事業運営の基軸となるよう中期経営基本計画（平成30年度（2018年度）から令和4年度（2022年度）までの1年目のスタートの年度でもあり、法人理念を各職員へ浸透させるため、経営会議等で周知徹底を行うとともに、新たな人事評価制度で計画に連動させる取組みを行いました。

さらに、関係機関や地域住民との連携を強化し、地域における福祉サービスの質の向上を図りながら、安定した施設・事業運営を推進するため、引き続き、次の事項に積極的に取り組みました。

- I 指定管理者等としての自覚と責任について

市との連携を強化し、各事業についても指定管理者あるいは業務の受託者としての自覚と責任を持って安心・安全な運営を行う中、より良いサービスの提供と信頼される施設と事業の運営を図るため、職員一丸となって経営の改善及びサービスの充実に努めました。
- II 経営基盤の確立について

安定した経営を実現するために、施設長等による経営会議等を定期的に関催し、経営の「収支バランス」を常に意識・確認し、ムリ・ムダ・ムラの無い効率的、効果的な事業の推進に努めました。

また、利用者サービスの向上、経営の安定、職員の意識改革等を推進するために、サービス基本マニュアルについて全施設で確認を行いました。
- III 地域福祉の推進について

指定管理を受けている施設の施設運営や受託業務は、地域の方々や関係機関の理解と協力が何より必要です。地域における福祉の中核的存在となるよう、施設運営や業務運営の改善を図り、地域福祉の推進に努めました。

また、社会福祉法人の地域における公益的な取組として、昨年度に引き続き「福祉なんでも相談会」をであいの森及びふれあいの里において開催しました。

IV 人材の確保・育成について

質の高い福祉サービスの提供を目指し、資格を有する職員の人材の確保とともに人材の育成に努めました。人材の育成面については、階層別の事業団主催研修や他機関が開催する外部研修などを積極的に取り入れ、新たな人事評価制度を導入し、職員の意識改革や資質の向上を図りました。

また、人材の確保面においては、草加市内の社会福祉法人で組織する草加市社会福祉法人ネットワーク会議を設立し、共通課題である人材の確保の試験的取組みとして、ハローワークとの共催で合同面接会を開催しました。

さらに、夜勤のある施設においては、処遇改善加算を導入し、人材の確保を図るとともに、職務限定正規職員制度を構築し、採用条件の選択肢を広げ職員募集を行いました。

V 情報の提供について

事業団とその運営する事業について、地域の方々に広く知っていただくため、事業団設立30周年記念の事業団だより「輝き」（第9号）を発行し、草加市や関係機関等に送付するとともに、ホームページ等を活用し、事業団の広報活動を推進しました。

VI 安全対策について

(1) 防災対策

事業団として、非常災害対策計画を策定し、有事に職員が適切な行動がとれるよう防災対策を図りました。常に施設設備の安全管理に努めるとともに、消防機関の協力を得て、避難訓練や初期消火訓練等を各施設において実施し、職員と利用者一人ひとりの防災意識の向上に努めました。

また、災害時に備え、職員による避難経路の安全点検や取り組む業務の明確化など、定期的な訓練を行い、職員の災害対応の向上に努めました。

(2) 防犯対策

事業団として、警察及び関係機関の協力を得て、定期的な防犯訓練を実施し、職員の防犯意識の向上に努めました。

組織一覧

組織名	所在地	開設年度	入所定数	職員数
事務局	草加市柿木町 1 2 1 3 番地 1	昭和 6 3 年	—	8 (4)
養護老人ホーム松楽苑	草加市柿木町 1 8 8 番地	昭和 5 1 年	5 0	1 0 (13)
障害福祉サービス事業所つばさの森	草加市柿木町 1 1 0 5 番地 2	平成元年	8 0	1 0 (13)
総合福祉センターであいの森	草加市柿木町 2 6 1 番地 1	平成 4 年	—	8 (21)
在宅福祉センターきくの里	草加市谷塚上町 7 0 4 番地 3	平成 1 3 年	—	1 2 (16)
高齢者福祉センターふれあいの里	草加市新里町 1 0 6 番地 6	平成 1 7 年	—	3 (4)
障害者グループホームひまわりの郷	草加市柿木町 1 1 0 4 番地	平成 2 2 年	3 0	5 (31)
障害者総合支援センター	草加市栄町二丁目 1 番 3 2 号 ストーク草加式番館 1 階	平成 2 2 年	—	6 (9)
生活介護事業所そよかぜの森	草加市柿木町 1 2 1 3 番地 1	平成 2 9 年	4 0	1 3 (12)
※ 職員数については、平成 31 年 3 月 31 日現在			合 計	7 5 (123)
※ () 内は、契約職員及び臨時職員の数で外書き				

事務局

1 概要

事務局は、各施設・事業所において利用者ニーズに沿った安心・安全な福祉サービスの提供ができるよう、その支援体制の整備・確立に努めました。

平成30年度における事務局の主な取組としては、新たに総務課・財務課の課制による組織の再編を行い、事務局内の事務分担の整理とともに、勤怠管理・人事管理・給与システム等の整備を行い、事務効率の改善に努めました。

また、税務顧問や社会保険労務士事務所への援助を受け、経営労務管理の改善に向けた取組として、各種規程の改正など抜本的な見直しを行いました。さらに、非常災害対策計画を活用し、施設と連携を図りました。

1 評議員会、理事会及び監査

事業計画、予算、事業報告及び決算のほか、法人運営上重要な事項について、適宜、評議員会及び理事会を開催し、審議、議決をいただきました。

また、業務執行の状況及び財産の状況（会計経理）の適正を期するため、監事に監査していただきました。

2 効率的、効果的な経営の推進

経営会議を定期的に開催し、各施設の事業において、目標を定めた事業の推進を図り、適正かつ効率的な事業の運営に努めました。

また、新たな人事評価制度を導入し、法人の理念が各職員へ浸透するよう、各施設との綿密な連携の下、職員の資質の向上を図りました。

3 職員研修

階層別の事業団主催研修や他機関が開催する外部研修などを積極的に取り入れ、職員の意識改革と資質の向上に努めるとともに、利用者が安心して利用できる施設サービスの充実・向上に努めました。

特に、平成30年度は、埼玉県社会福祉事業団及び市社会福祉協議会からの講師派遣協力による職員研修を行い、職員の意識改革やスキルアップを図りました。

II 評議員、役員及び評議員選任・解任委員一覧表

1 評議員 (平成31年3月31日現在)

役職名	氏名	選任団体等
評議員	齋藤幸子	ボランティア草加連絡協議会
評議員	加藤明	民生委員・児童委員協議会
評議員	佐々木一男	草加市障害福祉サービス事業所 つばさの森保護者会
評議員	川田民夫	社会福祉法人埼玉県社会福祉事業団 そうか光生園
評議員	猪俣裕嗣	社会福祉法人草加市社会福祉協議会
評議員	森永功	社会福祉法人草加市社会福祉協議会
評議員	浅古臣男	学識経験者(事業団OB)
評議員	芥藤和見	健康福祉部(副部長)

任期：平成29年(2017年)4月1日から令和3年(2021年)6月定時評議員会まで

2 役員(理事及び監事)

(平成31年3月31日現在)

役職名	氏名	選任団体等
理事長	浅井昌志	草加市長
副理事長	高橋知之	草加市健康福祉部部长
常務理事	大熊茂	学識経験者
政策担当特命理事	福田睦明	学識経験者
理事	秋山恵美子	社会福祉法人光陽会
理事	石川憲章	特定非営利法人身体障害者福祉協会
理事	深井薫	施設長
監事	齊藤吉信	税理士
監事	青木喬	地域福祉関係者

任期：平成29年(2017年)6月16日から令和元年(2019年)6月定時評議員会まで

3 評議員選任・解任委員

(平成31年3月31日現在)

役職名	氏名	選任基準
委員長	青木喬	監事
委員	片山和夫	外部委員
委員	竹城満博	事務局員

任期：平成29年(2017年)2月1日から令和元年(2019年)6月定時評議員会まで

III 評議員会

事業団の管理運営上、重要な事項を審議するため、次のとおり評議員会を開催しました。

1 平成30年度定時評議員会

- (1) 日時 平成30年6月6日(水) 午後1時55分
- (2) 場所 草加市総合福祉センターであいの森
- (3) 出席者 評議員8人、監事2人
- (4) 議決事項
 - ① (報告) 平成29年度社会福祉法人草加市社会福祉事業団事業報告
 - ② 平成29年度社会福祉法人草加市社会福祉事業団社会福祉事業及び収益事業決算
 - ③ 社会福祉法人草加市社会福祉事業団定款の一部を改正する定款の制定について

2 平成30年度第2回評議員会

- (1) 日時 平成30年11月9日(金)
- (2) 決議方法 書面による決議
- (3) 決議者 評議員8人
- (4) 議決事項
 - ① 社会福祉法人草加市社会福祉事業団理事の選任につき評議員会の同意を求めることについて
 - ② 平成30年度社会福祉法人草加市社会福祉事業団第2回評議員会の議事録署名者の選出について

3 平成30年度第3回評議員会

- (1) 日時 平成31年3月25日(月) 午後1時25分
- (2) 場所 草加市総合福祉センターであいの森
- (3) 出席者 評議員7人
- (4) 議決事項
 - ① 社会福祉法人草加市社会福祉事業団評議員及び役員報酬等に関する規程の一部を改正する規程の制定について
 - ② 社会福祉法人草加市社会福祉事業団理事の選任につき評議員会の議決を求めることについて

IV 理事会

事業団の管理運営上、重要な事項を審議するため、次のとおり理事会を開催しました。

1 平成30年度第1回理事会

- (1) 日 時 平成30年5月21日（月）午後3時25分
(2) 場 所 草加市総合福祉センターであいの森
(3) 出席者 理事6人、監事2人
(4) 議決事項
- ① 平成29年度社会福祉法人草加市社会福祉事業団事業報告
 - ② 平成29年度社会福祉法人草加市社会福祉事業団社会福祉事業及び収益事業決算
 - ③ 草加市障害者等日中一時支援事業の申請について
 - ④ 社会福祉法人草加市社会福祉事業団定款の一部を改正する定款の制定について
 - ⑤ 社会福祉法人草加市社会福祉事業団定時評議員会の招集について
 - ⑥ 平成30年度社会福祉法人草加市社会福祉事業団社会福祉事業資金収支補正予算（第1号）

2 平成30年度第2回理事会

- (1) 日 時 平成30年10月30日（火）
(2) 決議方法 書面による決議
(3) 決議者 理事7人、監事2人
(4) 議決事項
- ① 社会福祉法人草加市社会福祉事業団理事選任候補者の推薦について
 - ② 平成30年度社会福祉法人草加市社会福祉事業団第2回評議員会の議事録署名者の選出案について
 - ③ 決議の省略を行う平成30年度社会福祉法人草加市社会福祉事業団第2回評議員会に第7号議案及び第8号議案の内容を議案として提案することについて

3 平成30年度第3回理事会

- (1) 日 時 平成30年11月9日（金）
(2) 決議方法 書面による決議
(3) 決議者 理事7人、監事2人
(4) 議決事項
- ① 社会福祉法人草加市社会福祉事業団理事長の選定について

4 平成30年度第4回理事会

- (1) 日 時 平成31年1月24日 (木) 午後3時
- (2) 場 所 草加市総合福祉センターであいの森
- (3) 出席者 理事6人、監事2人
- (4) 議決事項
 - ① 社会福祉法人草加市社会福祉事業団就業規則の一部を改正する規則の制定について
 - ② 社会福祉法人草加市社会福祉事業団職員給与規程の一部を改正する規程の制定について
 - ③ 社会福祉法人草加市社会福祉事業団平成30年度第3回評議員会の招集について

5 平成30年度第5回理事会

- (1) 日 時 平成31年3月25日 (月) 午前10時
- (2) 場 所 草加市総合福祉センターであいの森
- (3) 出席者 理事7人、監事2人
- (4) 議決事項
 - ① 平成30年度社会福祉法人草加市社会福祉事業団社会福祉事業及び収益事業資金収支補正予算 (第2号)
 - ② 平成31年度(2019年度)社会福祉法人草加市社会福祉事業団事業計画
 - ③ 平成31年度(2019年度)社会福祉法人草加市社会福祉事業団社会福祉事業及び収益事業資金収支予算
 - ④ 社会福祉法人草加市社会福祉事業団組織規程の一部を改正する規程の制定について
 - ⑤ 社会福祉法人草加市社会福祉事業団就業規則の一部を改正する規則の制定について
 - ⑥ 社会福祉法人草加市社会福祉事業団評議員及び役員の報酬等に関する規程の一部を改正する規程の制定について
 - ⑦ 社会福祉法人草加市社会福祉事業団職員給与規程の一部を改正する規程の制定について
 - ⑧ 社会福祉法人草加市社会福祉事業団理事選任候補者の推薦につき理事会の同意を求めることについて
 - ⑨ 社会福祉法人草加市社会福祉事業団評議員選任候補者の推薦につき理事会の同意を求めることについて
 - ⑩ 社会福祉法人草加市社会福祉事業団評議員選任・解任委員会の招集について
 - ⑪ 施設長の任免につき議決を求めることについて

V 評議員選任・解任委員会

評議員を選任するため、次のとおり評議員選任・解任委員会を開催しました。

1	平成30年度第1回評議員選任・解任委員会
(1)	日 時 平成30年4月4日(水) 午前9時55分
(2)	場 所 事務局
(3)	出席者 委員3人
(4)	議決事項
①	社会福祉法人草加市社会福祉事業団評議員の選任につき議決を求め ることについて

VI 職員研修

人材の確保と育成の重要性に鑑み、次のとおり職員研修を実施しました。

1 事業団主催研修

月 日	内 容	人 数
4月2日	新人職員研修	4
7月5日	事業団職員副所長・主査段階層研修	8
9月14日	事業団職員施設長段階層研修	8
9月21日	労務管理者研修	8
10月15日・22日	新人職員後期研修	4
12月12日・20日	交通安全講習	47
3月7日	防犯講習	16

2 外部研修

月 日	内 容	人 数
6月5日・8日ほか	障害者相談支援従事者初任者研修	3
6月5日・8日ほか	サービス管理責任者研修	1

3 事務局職員等研修

月 日	内 容	人 数
5月30日 6月7日	労務管理研修	1
8月3日	社会福祉法人会計に関する研修	1
8月21日 9月6日・7日	コミュニケーションワークショップ基礎 研修	1
10月18日・19日	全国社会福祉事業団大会	1
11月12日	社会福祉法人管理者研修	1
11月14日	文書管理と情報公開・個人情報保護制度 について	4

11月19日	専門性を向上する研修	1
12月11日	働き方改革関連法説明会	1
12月17日	共生・共助つながりシンポジウム	1
1月9日	庁内職員勉強会	1
1月17日	企業向け非正規雇用対策セミナー	1
1月25日	職員実践・事例・研究発表会	3
1月30日	草加市地域福祉講座	1
2月1日	海外人材活用セミナー	1
2月22日	社会保険委員大会	1
3月6日	障害者雇用納付金制度事務説明会	1
3月12日	公正採用選考人権啓発推進員研修会	1

草加市立養護老人ホーム松楽苑

I 概要

養護老人ホーム事業は、入居者の自立した生活を安全かつ快適に送れるよう支援いたしました。また、ご家族及び各関係機関と適切な情報共有を図ることにより、安定した生活が送れるよう努めました。

訪問介護事業は、要介護利用者に対し、各介護サービスを利用することにより、入居者の方々が心地よい日常生活を送れるよう支援を行いました。

II 養護老人ホーム事業

1 事業概要

入居者が、個々の能力に応じた入居者本位の自立生活を営めるよう努めました。また、心身の状況を十分に把握し、その状態に応じた適切な支援を行いました。

2 実施概要

(1) 生活援助

入居者一人ひとりの処遇計画に基づき、その時の心身の状態を配慮し安全・安心した日常生活を送れるよう適切な支援を行いました。

また、クラブ活動やレクリエーションの時間を通じて入居者同士のコミュニケーションが図れるよう工夫し、支援を行いました。

(2) 相談・助言

入居者からの相談に常時対応し、日常生活を円滑に過ごしていただくための助言や援助を行いました。この他に金銭の管理や各種申請の代行を行いました。

(3) 健康管理

入居者の健康保持のため、毎朝の体操や外部から講師を招いて月4回程度、3B体操を行いました。

また、嘱託医による検診を月1回、定期健康診断を年2回実施するとともに、看護職員による血圧・体温測定、健康相談、服薬管理等を随時行い、入居者の健康維持に努めました。

さらには、入居者の体調変化に適切に対応し、必要な医療機関への通院等、疾病の早期発見、早期治療に努めました。

(4) 衛生管理

食堂や施設内の共有部分及び各居室の定期的な消毒とともに、加湿器などによる湿度調整を図ることにより感染症防止に努めました。その効果もあり、今年度は感染症にかかる方が出ませんでした。

(5) 食事の提供

栄養バランスはもちろんのこと、食材の充実を図るとともに季節の行事に沿ったメニューや各地の駅弁を参考にした料理を提供することにより、食欲向上に向けたメリハリある楽しい食事提供に努めました。

また、入居者個々の心身の状況に配慮し、カロリーの制限、ミキサー食やきざみ食等の食事形態を工夫し提供しました。

(6) 一時入所

社会適応が困難な高齢者を一時的に受け入れ、生活習慣の指導・支援や体調管理に努め、心身の安定を図りました。

また、必要に応じて市の担当と連携しながら適切な医療に繋がりました。

(7) 家族及び地域との連携

定期的に「苑だより」を発行し、入居者の生活の様子や苑の行事の状況を家族等にお知らせするとともに、必要に応じて入居者の状態の変化等の報告を行い、連携を密に図りました

開苑記念事業、敬老会等の行事開催に当たっては、地元の民生委員やボランティアと交流を図り、地域との密接な連携・協力を努めました。

また、市内中学校（1校）の社会体験事業や、ボランティアによる慰問を受け入れ、地域交流を図りました。

(8) 行事等の実施

6月には開苑記念事業を行い、また、カラオケやレクリエーションを中心とした余暇活動を通して、日常生活に変化と潤いを持たせ、充実した苑生活を送れるよう、季節に合わせた行事等を実施し、四季を感じていただきました。
また、買物ツアーなどを実施することで心身のリフレッシュを図りました。

III 訪問介護事業

1 事業概要

介護が必要な利用者個々の心身状況に配慮した介護サービス計画に基づき、各関係機関との連携の下、必要な介護サービスの提供を実施しました。

2 実施概要

(1) 身体介護

食事、排せつ、入浴等生活活動全般において、安全かつ安心して生活できるように介助、支援を行いました。

また、爪切りや服薬介助等、日常生活に必要な支援を行いました。

(2) 生活援助

居室の清掃、洗濯、寝具等の日用品の整理を行い、衛生面に配慮した支援を実施しました。

その他、快適な生活が送れるよう布団干し等の支援も行いました。

IV 安全対策

老朽化の進む施設への配慮と安全管理や設備の点検を常時行いました。

防火・防災については、消防署の協力を得て年2回、避難誘導訓練や初期消火訓練を実施し、防火・防災への対応力と意識の向上に努めました。

V 職員研修

外部研修に積極的に参加し、内部研修として外部研修の報告、身体拘束・虐待防止、感染症対策等の研修を行い、職員の能力や専門性を高めるとともに、情報や知識の共有及びサービスの向上に向けた意識改革に努めました。

(松 楽 苑)

(1) 入・退苑者の状況

(単位：人)

定員 区分	月別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
入苑者	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	1	1	1	8
退苑者	1	0	1	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	7
在苑者	38	38	37	37	37	37	37	37	36	36	38	39	40	39	

※ 前年度未在苑者 38人

(2) 措置機関別在苑者状況 (平成31年3月31日現在)

(単位：人)

措置機関名	人数
草加市福祉事務所	34
川口市福祉事務所	3
八潮市福祉事務所	1

措置機関名	人数
足立区福祉事務所	1
合 計	39

(3) 年齢分布表 (平成31年3月31日現在)

(単位：人)

年齢 性別	61歳 ～	66歳 ～	71歳 ～	76歳 ～	81歳 ～	86歳 ～	91歳 ～	96歳 ～	合計		平均 年齢
	65歳	70歳	75歳	80歳	85歳	90歳	95歳	100歳			
男性	1	0	2	3	4	3	1	0	14※		81.1歳
女性	0	0	4	7	8	2	1	2	24		81.4歳
合計	1	0	6	10	12	5	2	2	38※		81.3歳

最少年齢=65歳

最高年齢=97歳

※男性1名生年月日不明のため除く

(4) 介護保険サービスの利用状況

(単位：人)

事業所名	月別												計	前年度 合計		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
特定施設入居者生活介護事業所	10	11	10	10	10	10	10	10	10	10	11	11	13	12	128	135
訪問介護（草加市社会福祉事業団）	10	11	10	10	10	10	10	10	10	10	11	11	11	10	124	135
訪問介護（メディトピアさいゆう）	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	12
通所介護（クオオーターザイレッジ）	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	4	5	6	5	53	50
通所介護（デイサービスセンターあおやぎ）	3	4	3	3	3	3	3	3	3	2	3	3	4	4	38	67
福祉用具貸与（日科ミクロン）	8	9	8	8	8	8	8	8	8	7	6	6	6	6	88	109

(5) 一時入所

(単位：人・日)

区分	月別												計	前年度 合計	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
利用者数	1	1	1	1	2	2	1	2	2	0	1	0	14	8	
利用日数	14	22	2	31	57	40	7	8	43	0	15	0	239	126	

(6) 生活上の役割

役割	割合	担当者	回数
食堂・トイレ清掃		自立歩行者	毎日
上記以外の苑内共用部分の清掃		全員	1回/週
苑外周の清掃		全員	随時

(7) クラブ活動

内容	実施日	指導者	回数	構成員
習字	月1回	石崎様(ボランティア)	7	随時
カラオケ	毎週木曜日	担当職員	44	随時
3B体操	毎週月曜日	増村様・篠田様	40	全員

(8) 各種行事

実施日	行事名	場所
8月9日	説法	苑内
11月13日		
5月17日	カラオケ交流会	苑内
6月1日	開苑記念行事	苑内
6月20日	女性会議慰問	苑内
7月27日	夏祭り	苑内
8月8日・17日	盆供養(迎え火・送り火)	苑内
9月19日	敬老会(カラオケ交流会)	苑内
10月24日	ラーメン慰問	苑内
10月3日・10日・26日	買い物ツアー	苑外
11月21日・22日		
11月27日	そば商慰問	苑内
12月25日	クリスマス会	苑内
1月23日	初詣	苑外
1月16日	新年会(カラオケ交流)	苑内
2月1日	節分	苑内
3月27日	花見会	苑内
5月21日・7月23日・10月1日		
11月19日・1月21日・3月18日	ハーモニカ慰問	苑内

(9) ボランティア受入状況

内容	活動日	団体及び個人名
習字	月1回	石崎様
園芸	毎週火曜日	小林様
食事提供	年1回	そば商組合・ラーメン組合
法話	年2回	七里順量様

(10) 行事食献立の一例

月	行 事 名	献 立 名
5月	端午の節句	こいのぼりオムライス、エビフライ、チーズサラダ
7月	七夕	七夕そうめん、かき揚げ、冬瓜のカニあんかけ、フルーツポンチ
	納涼会	焼きそば、おにぎり、枝豆、フランクフルト、すいか、とうもろこし
9月	敬老会	赤飯、鯛の塩焼き、天ぷら、長芋の土佐酢あえ、とろろ昆布汁、メロン
10月	秋の味覚	くり御飯、煮しめ、桜大根漬、柿
12月	クリスマス	チキンソテー、ブロッコリーサラダ、ケチャップライス、コーンポタージュ、プリンアラモード
	年越し	天ぷらそば、おろし和え、みかん
1月	お正月	おせち料理（一口昆布巻き、かまぼこ、伊達巻き、黒豆、金平ごぼう、小ニジン甘露煮、ようかん、きんとん、若鶏八幡巻）、雑煮風（お餅風ムース）
	七草	七草粥、肉豆腐、なます、苺
	新年会	さしみ盛り合わせ、天ぷら、伊達巻き、黒豆、花魁の清汁
2月	節分	恵方巻（三色巻、サラダ巻）、がんもの野菜あんかけ、苺、豚汁
		五目ちらし、高野豆腐含め煮、菜の花の辛子和え、花魁の清汁
3月	雛まつり	筍ごはん、梅しらすご飯、スパゲツティナポリタン、銀だらの照焼、うなぎの蒲焼、ウドと菜の花の酢味噌和え、フルーツ盛り合わせ、春キヤベツと豚ばらの味噌汁
	お花見	
その他	駅弁	シラス丼弁当・かにいくら丼弁当

(11) 地域交流

機 関 名	内 容
青柳中学校	社会体験事業
川柳地区社会福祉協議会	敬老会
川柳地区民生委員・ASK歌謡連盟	カラオケ交流会・夏祭り

(12) 消防訓練

実施日	対象	内容	容
7月4日	火災	総合福祉センターであいの森及び特別養護老人ホーム柿木園との合同訓練 通報、避難、誘導、消火、煙体験	
3月7日	火災	夜間想定訓練 通報、避難、誘導、消火	

(13) 職員研修

月日	内容	人数
5月18日	介護現場に求められるリスクマネジメント	1
5月22日	集団指導（特定施設入居者生活介護）	1
5月25日	集団指導（訪問介護・訪問入浴介護）	1
6月8日	介護施設・事業従事者向け高齢者虐待防止研修	1
7月6日	施設ボランティア受入担当者研修	1
10月18日	埼玉県老人福祉施設協議会養護老人ホーム分科会研修会	1
10月23日	認知症ケア技術向上事業認知症介護事業者への全体研修会	1
11月8日	平成30年度介護の日記念研修	1
11月13日・ 20日	接遇推進者要請研修	1
11月27日	介護職員のための医療・薬の基礎知識	1

(訪問介護事業所)

(1) 要介護度別利用者数 (平成31年3月31日現在)

区分	利用者数	
	平成30年度	前年度
要支援1	0	0
要支援2	0	0
要介護1	2	1
要介護2	5	3
要介護3	2	2
要介護4	1	2
要介護5	1	2
合計	11	10

(2) 年齢階層別利用者数 (平成31年3月31日現在)

年齢区分	利用者数	
	平成30年度	前年度
64歳以下	0	0
65歳～69歳	0	0
70歳～74歳	0	0
75歳～79歳	1	1
80歳～84歳	4	3
85歳～89歳	3	2
90歳以上	3	4
合計	11	10

(3) 男女別利用者数 (平成31年3月31日現在)

性別	利用者数	
	平成30年度	前年度
男性	4	4
女性	7	6
合計	11	10

(4) 利用者数の推移

月	平成30年度		前年度	
	利用者数 (契約者)	新規	利用者数 (契約者)	新規
4月	11	0	12	0
5月	11	1	12	0
6月	10	0	11	0
7月	10	0	12	1
8月	10	0	12	0
9月	10	0	13	1
10月	10	0	11	1
11月	10	1	11	0
12月	11	2	12	1
1月	12	1	10	0
2月	11	0	10	0
3月	11	0	10	0
合計	127	5	136	4
月平均	10.5		11.3	

(5) 内部研修

月日	内容
10月20日	感染症対策
11月16日	感染症対策
1月24日	身体拘束・虐待防止
2月14日	身体拘束・虐待防止

草加市障害福祉サービス事業所つばさの森

I 概要

つばさの森は、市から指定管理者の指定を受ける中で、障がい者の福祉の増進と自立生活の助長を図ることを目指して、就労移行支援事業及び就労継続支援B型事業を実施しました。

利用者がつばさの森に通所し、働くことで、働く意欲を高めるとともに、就労に対する助長や生産活動の充実が図れるよう利用者個々の障がいに合わせて支援を行うため、保護者や近隣施設、さらには関係機関との連携を密にすることで、より良いサービスの提供ができるよう努めました。

また平成30年度は、つばさの森が設立30周年を迎えたことに伴い、30周年の記念式典を行ったり、利用者保護者と共に、設立以来通所している利用者を表彰するなどの記念行事を行いました。

II 就労移行支援事業

1 事業概要

利用者が一般企業へ就労できるよう、生産活動や職場実習その他の活動の機会を通じて、就労に必要な知識及び能力の向上に必要な訓練等の支援を行いました。また、利用者個々の状況に応じた支援を行い、職業適性を把握しながら、一般就労ができるよう支援しました。就労後においては職場への定着のために必要な相談、その他必要な支援を行いました。その結果、4名の方が一般企業へ就職することができました。

2 実施概要

(1) 職場実習

事業所や企業における職場実習を実施することで就労への意欲が高められるよう支援するとともに、職場実習を受け入れてくれる企業等の確保に努めました。一般企業等(延べ6社)において、延べ6名の利用者が職場実習に参加しました。うち、委託訓練として2名が参加しました。

(2) 求職活動の支援

草加市及び近隣市の障害者就労支援センター、東部障がい者就業・生活支援センターみらいなどの関係機関と連携を図り、利用者の就労に関する適性や要望に応じた求職活動の支援に努めました。

(3) 職場定着支援

就職後、安定した就労が持続できるように、随時職場訪問を実施し支援しました。各関係機関とも連絡を密に取り合い、情報の共有を図り、支援しました。

(4) 生産活動

生産活動を進める上においては、基礎体力・作業能力の向上、持続力

や集中力の向上、さらには職場における協調性の意識確保が重要であることから、基本的な職場規律や社会規律が体得できるよう支援を行いました。

(5) 訓練プログラム

個々の状況に応じたプログラムを提供し、併せて一般就労に必要な基礎知識を学ぶ座学やワークショップを活用することで、就労への資質と意欲の向上に繋がるよう支援を行いました。

(6) 施設外作業

一般就労に近い環境で作業を行うことにより、就労への意欲が向上するよう支援を行いました。

III 就労継続支援B型事業

1 事業概要

利用者への安定した工賃の支給を図るため、生産活動、施設外作業及び自主生産作業の充実に努めました。

利用者が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練の支援を行いました。

2 実施概要

(1) 生産活動

受注作業では、利用者の能力や特性に合わせた作業内容の提供や作業方法の工夫により、利用者個々に合わせた支援を行いました。

また、新規に使用済水道メーターの分解作業を受注することで作業量と作業収入の安定を図りました。

製菓作業では、新商品として「プチパイナップルマドレーヌ」「チョコバナナムドレーヌ」を販売し、各種イベントや季節のギフト商品に盛り込み、売上げアップを図りました。

印刷作業では、市議会議員の議会活動報告、草加市役所、教育機関、民間企業等、固定客からの封筒、名刺、冊子、年賀状印刷の定期的な注文をいただきました。

また、作業の効率化を図ったことにより、固定客からの定期的な注文や、新規の注文にスムーズな対応をすることができ、安定した収入を得るとともに、収入アップが図れました。

さらには、印刷業務に携わる利用者育成を行い、利用者の作業幅の拡大に繋げることができました。

(2) 施設外作業

施設外作業に携わる利用者を育成するとともに、安定した作業と、作業収入に繋がるようにしました。

(3) 就労への移行

就労に対して意欲のある利用者に対し、作業能力や知識の向上ができるよう支援しました。

(4) 生活支援

利用者の ADL（日常生活動作）の低下に伴い、支援が必要な利用者に対し、見守りや介助を行いました。健康面や精神面等の状態把握に努め、必要に応じてご家庭と連絡を取り、自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう支援しました。

IV 健康管理

年 1 回の健康診断を行い、利用者の健康状態を把握するとともに、保護者に健康診断の結果について報告し、情報の共有を図りました。

V 相談援助

利用者や家族等からの相談に適切に対応し、個人面談を定期的に行い、利用者の状況に合わせた、日常生活や社会生活が送れるよう支援しました。

VI 食事の提供

栄養士による栄養管理の下、季節の食材を取り入れた献立を作り、利用者の疾患や身体状況に配慮した、食べやすく栄養バランスのとれた昼食を提供しました。

また、嗜好調査を実施し、新たな状況を把握していくとともに、行事食や選択メニュー、バイキングなどの献立も取り入れ、食事が楽しめる工夫をしました。

VII 地域交流

地域との交流を促進するため、保護者会等の協力を得て、施設行事に地域の方々が参加できる機会を作るとともに、地域のまつり等へ製菓などの自主製品の販売や地域行事への参加を通じて地域に根ざした活動を行いました。

VIII 防災意識の向上

毎日の施錠と火気等の始末の確認及び設備の安全管理に努めるとともに、毎年 2 回の避難誘導訓練及び初期消火訓練を実施し、うち 1 回は消防機関の協力を得て実施することで、職員及び利用者一人ひとりの防災意識の向上に努めました。

IX 職員研修

法人内での研修や各種の研修会への参加をすることで、情報の把握や知識の習得のため、職員会議で研修内容の共有を図り、職員の意識改革と資質の向上に努めました。

(就労移行支援事業・就労継続支援B型事業)

(1) 訓練等給付費支給市町の利用者状況 (平成31年3月31日現在)

(単位：人)

支給市町村名	就労移行支援事業	就労継続支援B型事業
草加市	3	51
越谷市	1	12
八潮市	0	1
松伏町	0	1
吉川市	0	1
合計	4	66

(2) 入退所の状況

① 就労移行支援事業

定員	月別区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		入所者	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
6	退所者	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	3
	在所者	4	5	5	5	4	4	4	4	3	3	4	4	4

(単位：人)

② 就労継続支援B型事業

定員	月別区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		入所者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
74	退所者	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	在所者	67	67	67	66	66	66	66	66	66	66	66	66	66

※就労アセスメント入所者 9名

(3) 年齢別分布表 (平成31年3月31日現在)

① 就労移行支援事業

(単位：人)

年齢	18歳	20歳	30歳	40歳	50歳	60歳	合計	平均年齢
	性別	18歳	20歳	30歳	40歳	50歳		
男性	1	1	1	1	0	0	4	30.0歳
女性	0	0	0	0	0	0	0	0.0歳
合計	1	1	1	1	0	0	4	30.0歳

※ 最少年齢19歳 最高年齢40歳

②就労継続支援B型事業

年齢 性別	18歳	20歳	30歳	40歳	50歳	60歳	合計	平均 年齢
	男性	0	11	4	16	8		
女性	0	5	6	7	6	2	26	43.2歳
合計	0	16	10	23	14	3	66	42.3歳

※ 最少年齢20歳 最高年齢67歳

(4) 職場実習等

事業者名	人数	作業内容
シンフオニア東武(株)北春日部	1	清掃・ベットメイキング
シンフオニア東武(株)押上	1	社内郵便取り扱い・名刺作成等
(株)松屋フーズ	1	食器洗浄等
特別養護老人ホーム越谷なごみの郷	1	施設内清掃等
安全輸送(株)	1	ピッキング、梱包
(株)丸名工芸	1	塗装ライン内軽作業

(5) 就職先

事業者名	人数	作業内容
(株)松屋フーズ	2	食器洗浄等
花王ロジステイクス(株)	1	パレット間の荷物積み替え
(株)丸名工芸	1	塗装ライン内軽作業

(6) 受注作業

業者名	期間	作業品目
(資)釜屋商店	年間	お灸の筒の組み立て、お灸のサンプル組み立て等
(株)日本化学産業	年間	建築用部品の加工
(株)エークラ	年間	色画用紙・ケント紙の袋入れ・シール貼り等
(株)イワコー	年間	消しゴムの組立作業
(株)ヤサクホレーション	年間	段ボールの仕切りパッキング作成等
ワキチューセイブ(株)	年間	おしぼりの点検・数え・結束作業
(株)ワタナベ	年間	箱折り
フレンドリー	年間	箱折り
(合)Lead Block	年間	銀のさら 宅配用お箸セット作成
草加市上下水道部	年間	使用済水道メーターの分解作業
森紙器(株)	年間	箱折り

(7) 自主生産作業

作業名	生産品目
印刷	名刺、年賀状、議会ニュース、チラシ、封筒等
農業	サツマイモ、ジャガイモ、小松菜ジュース等
菓製	各種マドレーヌ、小松菜マフィン、彩のマカロース等
自動販売機	自動販売機の管理

(8) 施設外作業

業者名	期間	作業	品目
(株)ヤサワコーポレーション	年間	梱包作業、段ボール組み立て等	
草加市都市整備部 みどり公園課	年間	公園の清掃	
草加市上下水道部	年間	水源地の草刈り	

(9) 年間行事

実施日	行事名	参加人数
4月2日	入所式	新入所者2人
6月7日・8日	宿泊研修	58人
6月28日	バイキング給食	89人
9月9日	つばさの森30周年記念式典 つばさの森まつり2018	697人
11月27日	そば商組合交流会	129人
12月17日	お楽しみ会	81人
1月11日	成人を祝う会 バイキング給食	83人
1月25日	30周年記念お楽しみ会	137人
3月18日	お楽しみ会	82人

(10) クラブ活動

クラブ名	参加人数	内容	容
鑑賞	16	利用者の好みに合わせてDVD鑑賞や、ボウリングを行いました。	利用者の好みに合わせてDVD鑑賞や、ボウリングを行いました。
ダンス	25	音楽に合わせて皆でダンスをしました。福祉まつり、つばさの森まつりではダンスを披露しました。	音楽に合わせて皆でダンスをしました。福祉まつり、つばさの森まつりではダンスを披露しました。
芸術	29	お絵描きやゲーム(オセロ・将棋・ブロック・ジエンガ)音楽鑑賞など、各自の興味がある事を行いました。	お絵描きやゲーム(オセロ・将棋・ブロック・ジエンガ)音楽鑑賞など、各自の興味がある事を行いました。

(11) イベント等販売

(単位：円)

月	参加行事	売上
4月	稲荷桜まつり販売ほか11回	175,840
5月	草加高架下マルシェ販売ほか9回	102,810
6月	農業フェア販売ほか13回	285,400
7月	朝顔市販売ほか12回	108,200
8月	ロゾンセール販売ほか12回	121,570
9月	子育てフェスタ販売ほか9回	289,650
10月	スポーツフェスタイベント販売ほか19回	341,950
11月	福祉まつり販売ほか17回	641,710
12月	農業祭販売ほか10回	208,920
1月	ベルクス松原販売ほか10回	139,900
2月	百縁商店街販売ほか12回	166,590
3月	草加松原ロードレース大会ほか15回	216,000
合計	149回	2,798,540

(12) 年間作業収入

(単位：円)

受注作業	施設外作業	自主生産作業	収入合計
5,748,012	6,621,625	14,296,235	26,665,872

(13) 工賃支給額

(単位：円)

月	就労移行支援事業			就労継続支援B型事業		
	支給者数	支給額	平均工賃	支給者数	支給額	平均工賃
4月	5人	28,800	5,760	67人	636,300	9,497
5月	5人	44,400	8,880	67人	1,421,700	21,219
6月	5人	47,334	9,466	67人	1,136,828	16,967
7月	5人	46,900	9,380	67人	1,274,000	19,014
8月	5人	46,300	9,260	66人	1,025,800	15,542
9月	5人	28,700	5,740	66人	714,100	10,819
10月	4人	23,900	5,975	66人	525,500	7,962
11月	4人	49,500	12,375	66人	1,101,200	16,684
12月	4人	69,744	17,436	66人	1,578,866	23,922
1月	4人	67,100	16,775	66人	1,741,200	26,381
2月	3人	41,200	13,733	66人	1,185,500	17,962
3月	4人	35,600	8,900	66人	867,600	13,145
年間	53人	529,478	10,306	796人	13,208,594	16,593

(14) ボランティア受入状況

作業内容	延べ人数
作業支援、つばさの森まつりなど	186

(15) 特別支援学校など実習生受入状況

学校名	人数
草加かがやき特別支援学校	7
川柳中学校 (3 days)	3
青柳中学校 (3 days)	3

(16) 実習受入状況

実習依頼元	人数
草加市 (職員課、福祉政策課)	7
社会福祉法人 光陽会	1

(17) 防災訓練実施状況

実施日	対象	内容
6月27日	地震 火災	避難、誘導、消火
2月12日	地震 火災	避難、誘導、消火

(18) 職員研修

月日	内容	人数
4月9日・10日	接遇研修	2
4月23日	焼菓子勉強会	2
5月24日・31日	ジョブサポーター研修	1
5月25日	メンタルヘルス推進者養成研修	1
5月28日 6月4日	中堅職員キャリアパス研修	1
5月30日 6月7日	労務管理研修	1
6月12日	安全運転管理者講習	1
6月21日	食品表示・景品表示に関する研修会	1
6月28日	感染症研修会	1
8月29日	基礎から学ぶ成年後見制度	1

10月3日	メンタルヘルズ講習会	1
10月19日	接遇講習会	1
11月2日	アセスメント力をつける	1
11月28日	摂食・嚥下講習会	3
11月29日	リスクマネジメント研修	1
12月5日 2月26日	埼玉県虐待防止・権利擁護研修	1
12月10日	話し方・交渉力向上研修会	1
1月18日	虐待防止研修	1
1月30日	工賃向上研修	1
2月6日	障害特性を理解した支援	1
2月27日・28日	サービス管理責任者フオローアップ研修	1
2月28日	衛生推進者養成講習	1
3月4日	栄養成分講習会	1
3月18日	施設職員による虐待の防止	2
3月19日	障害福祉サービス事業所管理者及び障害児(者)施設長会議	1

草加市総合福祉センターであいの森

I 概要

草加市で唯一の総合福祉センターとしての施設機能を十分に活かしながら、高齢者及び障がい者の福祉の増進と文化の向上を図る施設として、利用者の健康増進や教養の向上、自立促進と生活の向上を目指した事業とサービスの提供に努めました。

また、サークルや主催講座による演目発表や作品展示、障害者週間記念事業などを主体とした「であいの森まつり」を12月1日に開催し、世代や障がいの有無に関わらず誰もが輝ける地域づくりの推進に努めました。

II 高齢者福祉センター事業

1 事業概要

高齢者が安心して生きがいのある健康的な日常生活を営んでいくことができよう、各種の講座、相談及びサービスを提供しました。

2 実施概要

(1) 講座の開催と利用の促進

高齢者の生きがいがづくり及び健康増進と相互交流、教養の向上を目的として、各種健康講座・趣味教養講座を企画し実施しました。

また、新たな取り組みとして、認知症予防や認知症への理解を深めるための普及・啓発などを図るため、参加者同士が気軽にお茶を飲みながら交流するアットホームな雰囲気の中、様々な分野の専門職等による講義やレクリエーションなどを行う「であいの森かけはしサロン」を開催し、好評を得ました。

(2) 生活・健康等の各種相談の実施

高齢者の心身の健康維持のため、嘱託医・看護師による健康相談及び血圧測定等を実施し、それに基づく助言・指導等を行い、生活習慣病の予防・改善に努めました。

また、高齢者の福祉に関する相談窓口として、認知症の疑いのある方や生活困窮者等の早期発見・対応に努めるとともに、民生委員や地域包括支援センターとの連携を強化しました。

(3) すこやかクラブ及びサークル団体活動への支援

すこやかクラブについては、市社会福祉協議会と密に連携し、会員同士の親睦や交流、生きがいがづくりや健康増進を図るための各種サービスを提供しました。

また、サークル団体については、自助・共助できる体制づくりを促進し、日頃の活動の成果を発表できる機会の提供に努めるとともに、施設利用及び事業等についてサークル団体代表者と職員が意見交換等を行う「利用者懇談会」を

年2回開催することにより、より良い施設サービスの提供並びに利用者満足度の向上に努めました。

(4) 施設利用の促進

高齢者等にレクリエーションの場として、大集会室、多目的室、囲碁将棋室等を開放し、施設利用の促進に努めました。

また、大型送迎バスで市内を循環し、施設を利用する高齢者及びすこやかクラブ等へ安全に配慮した送迎に努め、利便性の向上を図りました。

(5) 入浴サービスの提供

利用者が安心して利用できるよう、健康管理、衛生管理及び事故防止に努めるとともに、浴槽及び給排水設備等の適正な維持管理に努めました。

また、自宅での入浴が困難な方に対して、介助風呂を提供しました。

(6) 貸館事業

生きがいづくりや健康増進、教養の向上等を促進するため、高齢者やそのサークル団体、地域住民を対象に、研修室等の貸出を行いました。

(7) 施設維持管理

利用者の施設利用に支障が生じないよう、施設及び設備全般における破損及び故障等の発生に対し、適切かつ速やかに修繕を行うとともに、施設設備の適正な維持管理に努めました。

III 身体障害者福祉センター事業

1 事業概要

市内在住の身体に障がいのある人に対し、各種相談に応じるとともに、身体機能の維持向上、教養の向上及び社会参加の促進を図り、身体障がい者の福祉の増進に努めました。

講座等の活動を通して地域交流の機会を設けることにより、自立の促進と余暇活動の充実を図り、生活領域の拡大と地域に密接した生活が送れるよう支援しました。

2 実施概要

(1) 更生相談

障がい者及びその家族等に対し、生活や就業等に関わる各種の相談に応じ、関係機関との連携の下、支援しました。

(2) 機能訓練

医師の指示に基づき、専門職等が身体の機能の維持・回復を目的に訓練を実施し、安全な日常生活動作の習得と、社会参加の促進を図りました。

(3) 各種教養講座等

市内在住の身体に障がいのある方を対象に、余暇支援、地域社会への参加等を目的として、各種講座等を開催しました。

① トーンチャイム教室

年間10回の実施により身体に障がいのある方が音楽に触れ演奏することを楽しみ、人との出会い、触れ合いを通じて、心身の活性が図れるよう支援しました。であいの森まつりでの演奏を通じて受講生各々が、自己の能力を発揮して自分への自信を深めるとともに、地域社会と交流する機会を提供しました。

② 障がい者スポーツ講座「ボッチャ教室」

次年度の通年開講に先駆けて、埼玉県ボッチャ協会の協力のもと、単発の講座として実施しました。新規の申込も多数あり、ボッチャへの興味、関心の高さを実感しました。次年度に向けルールやノウハウを学び、関係機関との協力体制の構築に努めました。

③ リフレッシュ健康教室「カローリング」

市内在住の身体に障がいのある方を対象に全5回で実施。カローリングを通じて安心・安全にスポーツを楽しむ機会を提供しました。

また、市内の競技団体との交流試合を行い、地域社会との交流の機会を提供しました。

さらに、安全にスポーツが提供できるよう、スポーツレクリエーションの実践の場を通じて、スポーツボランティアの育成に努めました。

(4) 送迎サービス

機能訓練利用者に対し、リフト付きバスにてご自宅まで送迎を行いました。また、土曜日、日曜日に講座参加等で、施設を利用する身体に障がいのある方に対して、施設最寄りの駅までの送迎を予約制にて実施し、社会参加の促進を図りました。

IV 地域活動支援センター事業

1 事業概要

地域との結びつきを大切にし、利用者一人ひとりが住み慣れた地域において自立した日常生活、または社会生活を営むことが出来るよう、利用者の意思及び人格を尊重して、常に利用者の立場に立った総合的なサービスの提供に努めました。

2 実施概要

(1) 基本サービス

① 創作的活動

創作的活動を通して、個々の創造性や感性を高めるとともに、協働して取り組む中でお互いの障がいを理解し、集団生活における社会性を養えるよう支援しました。

また、園芸等の活動を通して、自然や季節を感じることににより、心の豊かさを得られるように努めました。

- ② 機能訓練
個々の生活実践プログラムの実施により、身体機能・生活能力の維持、向上を図るとともに、日常生活の充実に繋がるよう支援しました。
- ③ 介護方法の指導
利用者、家族等による相談を受ける中で、介護方法の指導、助言を行いました。
- ④ 社会適応訓練
一年を通じて個別支援計画に沿い、日常生活、社会生活における個々の課題を確認することにより、関係機関、家族との協力の下、個別訓練を通して支援しました。
- ⑤ 更生相談
利用者等からの生活や就業等に関する様々な相談に応じるとともに、必要に応じ、各関係機関、支援機関との連携、調整を図りました。
- ⑥ スポーツ・レクリエーション
スポーツボランティア等の協力を得て、安全かつ楽しくスポーツ・レクリエーションができる機会を提供することにより、体力の維持、向上を図るとともに、日常生活においても自ら積極的にスポーツ等に取り組めるよう支援しました。
- ⑦ 健康指導
バイタルチェックを行うことにより、その日の健康状態を把握し、日中活動が安全に行えるよう支援するとともに健康相談を行いました。
- ⑧ 医療的ケア
利用者の状態の維持及び健康維持増進を図るため、必要に応じ看護師による医療的な処置を行いました。
- (2) 食事サービス
栄養士による栄養管理の下、栄養バランスの摂れた季節感ある食事を提供しました。季節ごとのイベントに沿った食事やおやつを提供することにより、食を通してその季節感を感じていただきました。
また、各利用者の健康状況等を把握し、各々の身体状況等に応じた食事やおやつの提供を行いました。
- (3) 送迎サービス
自主通所の難しい利用者（市内在住者）に対し、リフト付きバスによる送迎サービスを行いました。
- (4) 入浴サービス
ご自宅での入浴が困難な方や入浴方法の指導等が必要な方に、身体の衛生保持と安全な入浴方法の習得を目的とした入浴サービスを行いました。
- (5) 特別プログラム
心身のリフレッシュを図ることを目的に外出活動等を実施することにより、

日常生活の活力向上、余暇活動の充実を図り、安定した日常生活を過ごせるよう支援しました。

3 利用者数等

	平成30年度	前年度
営業日数	256日	256日
延べ人数	4,636人	4,571人
1日平均	18.1人	17.9人

V 軽食喫茶事業

1 事業概要

厨房施設の機能を最大限に生かし、自主事業として軽食喫茶を運営することにより、利用者サービスの充実及び施設の利用促進に努めました。

2 実施概要

(1) 軽食喫茶

施設利用者に対し、栄養バランスのとれた手作りの食事を安価で提供することにより、利用者ニーズへの対応及び利用者満足度の向上を図りました。

(2) 地域活動支援センター等利用者への食事提供

地域活動支援センター等の利用者に対し、栄養面に配慮するとともに、利用者ニーズに沿った食事の提供を行いました。

(3) 受注販売・外部販売

当事業団が管理運営する施設に模擬店を出店することにより、施設利用者や地域住民との交流を図るとともに、であいの森内外へのアピールを図りました。

(4) 衛生管理職員の細菌検査等の実施や手洗い等の励行により、衛生管理の徹底を図りました。

VI 生きいき元気サロン事業

1 事業概要

利用者が要介護状態にならないための予防や社会的孤立感の解消を図るため、3時間程度のデイサービスを週1回実施し、利用者の心身の活性化を図れるよう支援しました。

2 実施概要

(1) 相談援助

利用者の日常生活における様々な相談等に必要な助言を行いました。また、参加を促すことにより、ひきこもり防止に繋がりました。

(2) 日常動作訓練・創作活動等

利用者主体のレクリエーション・創作活動を行うことで、生活の活性化と生きがいを持てるように支援しました。

- (3) 送迎サービス
送迎を希望する利用者に対し、ご自宅までの安全な送迎に努めました。
- (4) 食事サービス
季節感のある献立を作成し、安全で温かく、栄養バランスの取れた食事やおやつを提供をしました。

3 利用者数

	平成30年度	前年度
営業日数	52日	51日
延べ人数	595人	400人
1日平均	11.4人	7.8人

VII 各センサーの利用状況 (年間総計)

	平成30年度	前年度
(1) 高齢者福祉センサー	132,706人	136,202人
(2) 身体障害者福祉センサー	840人	928人
(3) 地域活動支援センサー	4,636人	4,571人
合計	138,182人	141,701人

VIII 安全対策

1 防災対策の強化

地震及び火災の非常災害時に備え対応できるよう、消防法第8条に基づき、年2回の定期防災訓練を近隣施設とも連携して行いました。

また、地震・火災時を想定し、館内放送による避難誘導訓練(初期消火訓練)を行い、職員及び利用者には危機意識の醸成を図るとともに、安全管理に努めました。

さらに、災害時において、施設の防災設備が正常に機能できるよう、委託業者による定期の保守点検及び職員による設備の巡回点検を行うとともに、定期的に主装置・機器・器具の起動試験を行うなど適正な維持管理に努めました。

2 防犯対策の強化

施設内の防犯対策について、職員による館内巡回を行い、また利用者からの情報も収集する中、必要に応じて呼びかけ及び案内等の掲示をするなどの対応を行いました。

IX 職員研修

各種研修会へ積極的に参加するとともに、業務中の様々な機会を捉えての研鑽に

努め、より良い福祉サービスが提供できるよう、職員の意識改革と資質の向上に努めました。

(高年者福祉センター事業)

(1) 健康相談の利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	前年度合計
件数	495	615	621	644	612	456		
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
件数	592	476	469	488	459	529		

(2) 教養講座の開催

開催期間	講座名	受講者数		回数	出席延人数	
		高年者			高年者	
5月7日～8月20日	フラダンス教室		30	8	154	
5月9日～3月13日	かけはしサロン		20	6	118	
5月17日～7月19日	スローストレッチで筋力アップ		30	6	153	
5月23日～9月26日	折り紙を楽しもう		20	6	55	
6月11日～8月27日	ストレッチ体操～バランスコーデイネーション～		30	6	139	
6月13日～2月13日	苔玉作り		15	2	30	
7月3日～9月18日	Let's siliリズム体操		30	6	126	
9月3日～12月3日	楽しく歌おう		40	8	263	
9月13日～11月22日	水彩画を楽しく描こう		10	6	57	
10月3日～11月21日	絵手紙教室		20	5	67	
10月4日～12月20日	スローストレッチで筋力アップ		30	6	148	
11月12日～12月9日	手芸講座～單手で作ろう～亥		20	2	38	
1月8日～3月26日	体幹を鍛えようヨーガ教室		30	6	148	
1月10日～3月14日	季節を感じよう俳句講座		20	6	86	
1月15日～3月19日	Let's siliリズム体操		30	6	144	
2月20日～3月6日	Go!Go!チャレンジスポーツ吹矢		15	3	32	

(3) さこやかクラブの利用状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	前年度合計
団体数	20	19	22	20	21	17		
利用者数	261	341	296	288	286	236		
区分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	3,453	3,138
団体数	23	18	18	19	20	22		
利用者数	334	294	261	253	267	336		

(4) 高齢者の送迎サービスの状況 (一般) (単位:人)

区分\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	前年度合計	
午前便	1,505	1,607	1,637	1,678	1,614	1,617	19,561	19,704
午後便	668	761	746	773	769	783	9,660	9,068
計	2,173	2,368	2,383	2,451	2,383	2,400	29,221	28,772
区分\月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
午前便	1,331	1,599	1,456	1,855	1,959	1,703	19,561	19,704
午後便	826	836	736	882	962	918	9,660	9,068
計	2,157	2,435	2,192	2,737	2,921	2,621	29,221	28,772

(5) サークルの活動状況 (平成31年3月31日現在) ※活動実績のあるサークルのみ表示

サークル名	会費	活動回数	サークル名	会費	活動回数
青柳クラブ	9	40	草香スクール	3	5
アカリダンスサークル	21	47	太極拳サークル	20	35
絵手紙工房	10	12	ダンスサークル レモン	10	36
かがやき	7	24	稚心会	16	25
カサブランカ	29	41	埼玉県スポーツウエルネ	18	45
華道部 千草会	4	28	ス吹矢協会草加栄支部	9	41
がんばろうクラブ	17	21	にこにこ体操クラブ	11	61
ギターサークル であい	7	38	パープルフレンズ	15	46
杵柄会 あじさいクラブ	12	35	美書ペンクラブ	18	24
杵柄会 三味線クラブ	7	35	ひまわりフォークダンス	9	2
杵柄会 日本舞踊クラブ	10	34	フラワー大正琴	6	14
杵柄会 民謡クラブ	18	24	フレンドリーダンスサークル	22	45
K Sカラオケクラブ	10	21	ポティミュージックサークルであい	6	10
K T C	3	13	まあがれつと	5	86
琴 こでまり	6	27	マイスマイル	4	9
サークルあいあい	5	2	マリンバ・アンサンブル'99	3	48
彩悠クラブ	11	12	みつぼしクラブ	16	44
桜草サークル	9	15	メープル英会話クラブ	15	51
視覚障がい者 虹の会	5	24	森のオカリナ	12	50
シルバーコーラス	38	23	紬友くらぶ	12	52
ストレッチ体操 空	34	39	友和会	12	24
青山草加句会	5	33	よさこい彩女	24	52
草加ハナレイ・フラサークル	12	53	楽々会	9	17
草加ハーモニカ同好会	10	28			

(6) 研修室等の利用状況

() …団体数 (単位:人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	総数
区分							
研修室1・2	(26) 344	(28) 458	(27) 472	(27) 432	(19) 377	(26) 397	(293) 5,199
研修室3・4	(32) 565	(34) 625	(34) 595	(35) 554	(34) 527	(32) 638	(390) 7,294
茶・華道室	(18) 126	(26) 339	(25) 130	(19) 90	(19) 77	(18) 112	(235) 2,313
教養文化室	(62) 1,344	(66) 1,314	(65) 1,414	(67) 1,030	(58) 1,134	(68) 1,219	(790) 14,663
工房 (障・木工塾)	(11) 141	(13) 195	(9) 144	(10) 136	(16) 164	(13) 177	(128) 1,820
その他 (別館・密着)	(14) 182	(11) 148	(13) 150	(11) 141	(10) 105	(19) 179	(160) 2,548
合計	(163) 2,702	(178) 3,079	(173) 2,905	(169) 2,383	(156) 2,384	(176) 2,722	(1,996) 33,837
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
区分							
研修室1・2	(19) 332	(26) 427	(22) 572	(16) 283	(26) 474	(31) 631	(293) 5,199
研修室3・4	(38) 610	(43) 742	(22) 595	(26) 481	(27) 595	(33) 767	(390) 7,294
茶・華道室	(22) 137	(30) 768	(14) 224	(12) 76	(15) 118	(17) 116	(235) 2,313
教養文化室	(72) 1,118	(75) 1,206	(57) 1,414	(61) 1,057	(68) 1,092	(71) 1,321	(790) 14,663
工房 (障・木工塾)	(10) 152	(11) 152	(8) 126	(8) 132	(9) 149	(10) 152	(128) 1,820
その他 (別館・密着)	(18) 169	(10) 164	(15) 776	(14) 192	(11) 164	(14) 178	(160) 2,548
合計	(179) 2,518	(195) 3,459	(138) 3,707	(137) 2,221	(156) 2,592	(176) 3,165	(1,996) 33,837

(7) 利用料の状況

(単位:円)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	前年度合計
利用料	0	0	440	280	0	3,900	13,720	2,100
利用料	650	1,950	1,300	870	3,680	650	13,720	2,100

(8) 職員研修

年 月	内 容	人 数
5月23日	コミュニティーソーシャルワーク実践者養成研	1
6月1日	修入門編	
6月12日	安全運転管理者講習	1
10月16日・17日	防火管理研修	1
10月18日	管理職向けメンタルヘルス講習会	1
1月9日	「市町村における包括的支援体制の整備」を学 ぶ庁内勉強会	1
1月30日	地域福祉研修	1
2月26日	成功する市民講座・企画立案と講師の選び方	1
3月18日	草加市基幹相談支援センター研修	3
3月26日	草加市医療・介護多職種協働研修会	2

(身体障害者福祉センター事業)

(1) 機能回復訓練利用状況 (延べ人数)

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
		日数	8	10	8	9	9	
利用者数	男性	20	24	21	22	19	16	95
	女性	6	15	7	5	8	7	
	合計	26	39	28	27	27	23	303
	1日平均利用者数	3.3	3.9	3.5	3.0	3.0	2.9	3.0
	健康確認及び指導	26	39	28	27	27	23	303
	評価	1	3	3	5	1	3	21
	診察	3	3	3	3	3	1	20
	介護方法の指導	5	3	3	3	3	2	26
	更生相談	3	3	3	3	4	2	26
	送迎	25	34	23	24	23	20	208
	復路	24	33	22	21	23	17	102
区分	月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		日数	9	9	8	8	8	
利用者数	男性	17	10	15	14	18	12	95
	女性	7	9	5	6	11	9	
	合計	24	19	20	20	29	21	303
	1日平均利用者数	2.7	2.1	2.5	2.5	3.6	2.6	3.0
	健康確認及び指導	24	19	20	20	29	21	303
	評価	3	1	3	0	2	1	26
	診察	2	4	2	3	2	1	30
	介護方法の指導	2	4	2	3	2	1	33
	更生相談	2	4	2	3	2	1	32
	送迎	21	15	17	14	23	17	256
	復路	21	15	17	14	23	16	246

(2) 機能回復訓練登録者年齢別状況 (平成31年3月31日現在)

年齢区分	18歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～	総計	平均年齢
男	0	1	5	2	1	1	10	50歳
女	1	1	2	1	1	0	6	42.8歳
合計	1	2	7	3	2	1	16	47.3歳

(3) 嘱託医(整形外科)評価・診察状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
人	1	5	2	4	2	1	1
男性	1	5	2	4	2	1	1
女性	3	1	4	4	2	3	3
合計	4	6	6	8	4	4	4
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人	3	4	2	1	4	0	29
男性	3	4	2	1	4	0	29
女性	2	1	3	2	0	2	27
合計	5	5	5	3	4	2	56

(4) 送迎サービス(シャトルバス)の状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
往路	0	0	0	0	0	16	16
復路	0	0	0	0	0	18	18
計	0	0	0	0	0	34	34
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
往路	20	17	21	13	0	8	95
復路	20	18	23	15	0	8	102
計	40	35	44	28	0	16	197

(5) 各種教養・心身向上講座

開催期間	講座名	回数	受講者数	延べ人数
6月1日 ～7月27日	「障がい者のためのリフレッシュ健康教室」	5	9	42
8月19日 ～12月17日	「トーンチャイム教室」	10	14	130
12月2日	障害者週間記念事業 ダンスパフォーマンス「ベストプレイス」 手話パフォーマンス「クラーク記念国際高等学校」	1	1	来場者 150
3月10日	「障がい者のためのボッチャ教室」	1	18	18
合計		17	37	340

(地域活動支援センター事業)

(1) 契約者状況 (全55名)

(平成31年3月31日現在)

区分 年齢	区分なし			区分1			区分2			区分3		
	身体	知的	精神	身体	知的	精神	身体	知的	精神	身体	知的	精神
18歳～28歳	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29歳～38歳	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0
39歳～48歳	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
49歳～58歳	2	0	1	0	0	0	0	0	4	0	0	0
59歳～65歳	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
65歳～	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	8	3	2	0	0	0	0	1	4	2	0	0
前年度合計	9	3	0	0	0	0	0	0	2	7	2	1
区分 年齢	区分4			区分5			区分6					
	身体	知的	精神	身体	知的	精神	身体	知的	精神			
18歳～28歳	0	1	0	0	0	0	0	1	0			
29歳～38歳	0	1	0	1	0	0	1	0	0			
39歳～48歳	1	6	0	2	2	0	1	0	0			
49歳～58歳	1	1	0	4	0	0	1	0	0			
59歳～65歳	0	0	0	4	0	0	1	0	0			
65歳～	0	1	0	0	0	0	0	0	0			
合計	2	10	0	11	2	0	4	1	0			
前年度合計	2	11	0	7	0	0	6	1	0			

(2) 新規利用者・利用終了者

新規利用者	性別		終了者			
	相談件数 (未契約)	契約人数	理由 (入所・他施設移行等)	男性	女性	合計
新規利用者	5	6	辞退	2	0	0
	7	2	死亡	0	1	1
合計	12	8	65歳到達	0	0	0
合計			合計	2	1	1

(3) 営業日数及び利用者数の月別状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
営業日数		21	23	21	22	23	20	23	22
月間利用者数	実人数	45	46	42	43	46	45	45	47
	延べ人数	388	387	372	388	394	358	413	405
一日平均利用者数		18.5	16.8	17.7	17.6	17.1	17.9	18.0	18.4
サービス別利用者数	送迎	349	352	335	347	358	332	382	374
	往路	368	372	355	364	377	347	404	391
	復路	717	724	690	711	735	679	786	765
計		79	69	69	68	78	73	81	74
入浴サービス		387	386	366	345	385	337	390	397
給食サービス		12月	1月	2月	3月	合計	月平均	前年度	
営業日数		20	20	20	21	256	21.3	256	
月間利用者数	実人数	49	48	47	47	550		531	
	延べ人数	393	356	374	408	4,636	386.3	4,571	
一日平均利用者数		19.7	17.8	18.7	19.4		18.1	17.9	
サービス別利用者数	送迎	362	332	344	380	4,247	353.9	4,078	
	往路	375	339	360	396	4,448	370.7	4,295	
	復路	737	671	704	776	8,695	724.6	8,373	
計		62	64	68	60	845	70.4	708	
入浴サービス		388	349	361	365	4,456	371.3	4,469	
給食サービス									

(4) 年間実施行事

実施期間	活動名	内容・備考
4月2日～6日	オリエンテーション	
4月～6月	散歩	そうか公園 他
10月～11月		
5月～11月	合同創作	卵の殻アート ①パリポリ君 ②草加市シンボルマーク (福祉祭り・であいの森まつり展示)
6月～3月 (計30回)	スポレク	バドミントン・卓球・テニス
7月～2月 (全21回)	レイクタウン外出	レイクタウンへ買い物・外食・映画鑑賞
7月2日～6日	七夕	おやつにてパフェの提供・飾り作り
7月4日・2月13日	避難訓練	水消火器体験・煙体験 (中止)
7月20日	夏祭り	全曜日合同・ご家族様参加 (焼肉・W杯ビンゴプレゼント大会)
9月～10月 (全5回)	バスハイク	東京デイズニージーート周辺へ外出
10月1日～11日 (全5回)	持ち帰り創作	小物入れ作り (持ち帰り)

12月19日	クリスマス会	全曜日合同・ご家族様参加 ・ピンゴプレゼント大会 ・演芸ボランティア鑑賞 ・ケーキバイキング ・職員の仮装
1月4日～10日	書初め	書初め・書道展開催
2月1日～7日	カレンダー創作	平成31年度カレンダー作成
2月8日～14日	バレンタイン	おやつにてパフェの提供
2月18日～22日 (全5回)	持ち帰り園芸	多肉植物の持ち帰り
3月1日～19日 (全5回)	プチ外食	近隣飲食店(とんでん)へ外出
3月18日～28日 (全5回)	年間振り返り	平成30年度の活動写真を見ながら菓子・選択制飲み物を提供

(5) ボランティア受入状況

活動内容	延べ人数
介護ボランティア	223
スポーツボランティア	
演芸ボランティア	

(6) 職員研修

月日	内 容	人数
7月5日	階層別研修	1
8月3日	サポーター養成講習会(ポッチャ)	3
11月14日	文書管理と情報公開・個人情報保護制度及び文書起案について	1
12月12日・20日	交通安全講習会	5
2月23・24日	個別支援計画書作成および運用に関する研修会	1
3月7日	防犯講習	3
3月18日	草加市基幹相談支援センター研修	1

(軽食喫茶事業)

(1) レストラン利用者状況 (単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合 計		前年度合計
利用者数	1,246	1,343	1,521	1,327	1,294	1,133	16,775	17,598	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	16,775	17,598	
利用者数	1,326	1,756	2,281	1,147	1,160	1,241	16,775	17,598	

(2) 職員研修

年 月	内 容	人 数
6月12日	給食施設研修会	1

草加市在宅福祉センターきくの里

I 概要

高齢者の福祉の増進を目的とし、利用者の意思及び人格を尊重し、利用者の立場に立ったサービスの提供に努め、高齢者の生活の助長、社会的孤立感の解消及び心身機能の維持向上を図るとともに、利用者の家族等の身体的及び精神的な負担の軽減を図るため、各事業を実施しました。

II 高齢者デイサービスセンター事業

1 事業概要

高齢者が自分らしく生活できるよう身体機能の減退防止、自立度の維持及び向上を目的に利用者の立場に立って、サービスの提供ができるよう努めました。

2 実施概要

(1) 通所介護

① 健康確認

看護職員による血圧、脈拍及び体温の測定等を行うことで、利用者の健康状態を把握し、状態に変化が生じたときは、家族等に連絡、助言を行いました。

② 生活相談

利用者及び家族等からのデイサービス利用に関する相談、介護に関する相談を受け、必要に応じて援助を行いました。

③ 入浴サービス

入浴を希望する利用者には、入浴を提供することで身体の清潔保持及び爽快感が得られるよう努めました。

④ 送迎サービス

送迎を希望する利用者にはリフト付きバスで利用者宅ときくの里間の送迎を行いました。

⑤ 食事サービス

利用者個々の健康に配慮し、栄養バランスや季節感に配慮しながら温かく食べやすい食事の提供を行いました。

⑥ 日常生活動作訓練

軽体操、四肢運動等を行い、心身機能の維持向上及び体力の増進に努めました。

また、集団で楽しめるレクリエーションや創作活動を実施し、個々の気分転換や意欲の高揚、他利用者同士のコミュニケーションを図り、その活動を

通して心身の活性化ができるよう努めました。

⑦ 口腔ケアサービス

口腔ケア体操、昼食後のブラッシング及び歯科衛生士による口腔指導を実施し、口腔機能及び生活機能の維持向上に努めました。

⑧ フットケアサービス

足浴、マッサージ及び爪切りを実施することで足の状態を観察し、利用者の健康状況の把握及び生活機能の維持向上に努めました。

(2) 介護予防通所介護

① 共通サービス

生活能力向上のため、食事、排せつ、入浴及びレクリエーション等のサービスの提供を行いました。

② 選択サービス

運動器機能訓練を選択された利用者に対し、個々の状況に合わせたプログラムを作成し、サービスの提供を行いました。

3 利用者数等

	平成30年度	前年度
営業日数	306日	307日
延べ人数	6,810人	6,988人
1日平均	22.3人	22.8人

III 居宅介護支援事業

1 事業概要

利用者が介護保険サービスを適切に利用できるよう、関係行政機関及びサービス事業者等との連携を密に図り、利用者一人ひとりのニーズに沿った総合的な居宅介護サービスの提供が行えるよう支援しました。

2 実施概要

(1) 居宅サービス計画の作成

- ① 利用者の居宅を訪問し、利用者及び家族と面接して利用者の状況把握をする中、解決すべき課題を把握するとともに、居宅サービス事業等に関する情報を利用者及び家族に提供しました。
- ② 利用者の生活上の課題の解決及び軽減のため、具体的な目標を立て、その目標達成に必要なサービスの種類や内容を記した居宅サービス計画を作成しました。
- ③ 居宅サービス計画（ケアプラン）の原案を作成するにあたり、居宅サービス事業者の情報を利用者及び家族に提供し、事業者の選択がしやすいよう支援しました。

- ④ 居宅サービス計画に基づく居宅サービスの実施にあたり、利用者、家族及びサービス事業者等の関係者に参加していただき、サービス担当者会議を開催し、目標・サービス内容等について共通認識を持てるよう支援しました。
- ⑤ 居宅サービス計画に福祉用具の購入や住宅改修を位置付ける際に、福祉用具及び住宅改修の必要性を把握し、それぞれ必要な理由書の作成を行いました。
- ⑥ 適切な居宅サービス事業の実施のため、居宅サービス事業所等への情報提供及び連絡調整を行いました。
- ⑦ 利用者の心身状態の変化により必要なときは、居宅サービス計画の見直しを適宜行いました。
- (2) 申請代行
介護保険要介護認定申請等の市区への申請の代行を依頼された利用者に代わり申請を行いました。
- (3) 実績管理
居宅サービス計画に基づき居宅サービスが提供されているか内容を把握しながら実績管理を行い、給付管理票を作成しました。
- (4) 要介護認定調査
市の委託を受け、要介護認定調査を実施しました。

3 請求件数

	平成30年度	前年度
請求件数	1,653人	1,682人
月平均	137.8人	140.2人

IV 地域包括支援センター事業

1 事業概要

高齢者が関わる介護保険サービスをはじめ、保健・医療・福祉等の様々な社会資源を活用し、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活ができるよう包括的に支援しました。

また、地域ケア会議等を通して地域の関係者との連携を図り、利用者の自立に向けた個別の支援とそれを支える地域資源の充実を図り、地域包括ケアシステムの構築に努めました。

2 実施概要

(1) 包括的支援事業

① 総合相談・支援

ア 地域の高齢者の抱える生活課題について相談を受け、看護師、主任介護支援専門員及び社会福祉士の3職種で連携し、課題解決に向けた支援を行

いました。

また、行政機関、民生委員及び介護サービス事業者への連絡調整を行い、必要な機関・制度の利用につなげる等の支援を行いました。

イ 地域ネットワーク会議を開催し、圏域内の民生委員、認知症サポーター、介護支援専門員、医療従事者、行政職員及び包括支援センター職員が相互に交流を図り、連携・協力体制の強化に努めました。

ウ 介護者のつどいを開催し、家族介護者の支援に努めました。

また、認知症サポーター養成講座や出前講座、介護予防普及啓発事業を開催し、認知症及び認知症予防の普及啓発に努めました。

エ 認知症地域支援推進員を中心に、認知症の人とその家族の支援の充実に図るために行政や医療機関との連携に努めました。

② 権利擁護

ア 支援困難な事例について、介護支援専門員や介護サービス事業者、民生委員、行政等と連携を図り、地域ケア会議等を通して専門的・継続的に支援を行いました。

イ 諸制度を活用し、必要な関係機関と連携をして高齢者の支援を行いました。

③ 包括的・継続的ケアマネジメント支援

ア 担当圏域及び市内全域の介護サービス事業者や医療相談員等との事業者交流会を開催し、医療と介護の連携やネットワークの構築に努めました。また、出前講座や地域ケア会議を通して医療との連携を深め、さらに、インフォーマルな社会資源との連携体制の構築に努めました。

イ 介護支援専門員からの日常的な相談を受け、助言を行いました。

また、介護支援専門員との交流会を開催し、相談しやすい環境づくりに努めました。

ウ 各種地域ケア会議を開催し、地域課題の整理を行い、不足資源の把握に努めました。また、自立支援型地域ケア会議へ参加し、自立に向けた取り組みを積極的に行いました。

④ 認知症総合相談

認知症に関する相談に応じ、必要な医療・介護等サービスが受けられるよう関係機関との連携を図り、認知症の人やその家族の支援を行いました。

⑤ 在宅医療・介護連携

医療と介護の連携を深め、一体的なサービス提供に向けての取り組みを行いました。地域ケア会議等を通して地域資源の開発や関係者間の情報共有連携を図り、ネットワーク構築、生活支援サービスの体制整備に努めました。

⑥ 介護予防ケアマネジメント

高齢者の自立した日常生活が出来るよう、予防的及び専門的視点からア

セサメントを行い、高齢者自らの選択を尊重しながら必要な支援を行いました。

(2) 一般介護予防事業

地域の高齢者世帯への個別訪問、関係機関との連携を通じて状況把握を行い必要に応じて介護予防教室等へつなげるように努めました。また、地域の高齢者に対して、介護予防普及啓発事業を開催し、要介護状態にならないよう予防支援を行いました。

(3) 指定介護予防ケアマネジメント事業

要支援者等のケアマネジメントを行い、アセスメント、ケアプラン原案の策定、サービス調整、サービス担当者会議を実施し、利用者の心身の状況、置かれている環境等に応じた支援を行いました。

V 生きいき元気サロン事業

1 事業概要

利用者が認知症予防や社会的孤立感の解消を図るため、3時間程度のデイサービスを週1回実施し、利用者の心身の活性化を図れるよう支援しました。

2 実施概要

(1) 相談援助

利用者の相談援助を受け、必要に応じて地域包括支援センター等と連携しながら支援しました。

(2) 日常動作訓練・創作活動等

軽運動や外出を行うことで日常動作に用いる機能の維持向上及び心身の活性化を図りました。

(3) 送迎サービス

送迎を希望する利用者には、リフト付きバスで利用者宅ときくの里間の送迎を行いました。

(4) 食事サービス

身体状況を考慮し、食べやすく栄養バランスが取れた食事の提供を行いました。

3 利用者数

	平成30年度	前年度
営業日数	51日	51日
延べ人数	657人	691人
1日平均	12.8人	13.5人

VI 安全対策

1 避難訓練

消防法第8条の規定に基づき年2回の避難訓練を行い、火災を想定した通報、避難誘導、初期消火等の訓練を実施し、利用者及び職員が災害時に迅速な対応ができるよう努めました。

また、2回実施した訓練のうち1回は水害を想定し、危機対応意識の向上を図りました。

2 施設管理

施設の安全対策として毎日の施錠、火気等の始末の確認など、施設設備の点検を実施し、適正かつ安全な施設の維持管理に努めました。

VII 職員研修

外部の研修会等へ積極的に参加し、その内容を施設内で共有・伝達を行う中、職員一人ひとりの意識改革及び技術の向上を図るとともに、より良いサービスの提供ができるよう努めました。

(高齢者デザイナービジネスセンター事業)

(1) 要介護度別利用者数

(平成31年3月31日現在)

要介護度 性別	事業 対象者	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
男性	0	1	1	6	3	2	0	0	13
女性	3	5	5	19	6	5	6	1	50
合計	3	6	6	25	9	7	6	1	63
前年度合計	3	5	10	22	19	7	2	2	70

(2) 年齢階層別利用者数

(平成31年3月31日現在)

年齢 性別	～69歳	70歳～ 74歳	75歳～ 79歳	80歳～ 84歳	85歳～ 89歳	90歳～ 94歳	95歳～	最少 年齢	最高 年齢	平均 年齢
男性	1	1	1	7	1	2	0	62歳	94歳	75歳
事業対象者	0	0	0	0	0	0	0			
要支援1	0	0	0	1	0	0	0			
要支援2	0	0	0	1	0	1	0			
要介護1	1	1	1	1	1	1	0			
要介護2	0	0	0	2	0	0	0			
要介護3	0	0	0	0	0	0	0			
要介護4	0	0	0	0	0	0	0			
要介護5	0	0	0	0	0	0	0			
女性	0	1	7	14	11	11	6	74歳	98歳	86歳
事業対象者	0	0	0	2	0	1	0			
要支援1	0	0	2	1	1	1	0			
要支援2	0	0	0	4	0	1	0			
要介護1	0	0	2	2	5	6	4			
要介護2	0	0	0	3	1	0	2			
要介護3	0	1	2	1	1	0	0			
要介護4	0	0	1	1	2	2	0			
要介護5	0	0	0	0	1	0	0			
合計	1	2	8	21	12	13	6	—	—	—

(3) 営業日数及び採利用者数の月別状況

区分	月											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	前年度 月平均			
営業日数	25	27	26	26	26	25	27	26				
月間利用者数	72	69	66	66	64	65	68	66				
延べ人数	588	586	573	586	583	584	633	576				
一日平均利用者数	23.5	21.7	22.0	22.5	22.4	23.4	23.4	22.2				
サービス	送迎	578	573	562	576	573	575	567				
	往路	581	573	565	581	577	581	568				
別利用者数	復路	1,159	1,146	1,127	1,157	1,150	1,250	1,135				
	計	588	586	573	586	583	633	576				
健康確認	入浴サービス	236	232	225	232	251	245	239				
	給食サービス	588	586	572	586	583	633	575				
日常生活動作訓練	日常生活動作訓練	588	586	572	586	583	633	575				
	運動器機能向上	100	111	94	93	88	94	91				
月間利用者数	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	前年度 月平均					
営業日数	24	24	24	26	306	25.5	25.5	25.5				
月間利用者数	64	65	63	63	791	65.9	65.9	65.4				
延べ人数	515	524	524	538	6,810	567.5	567.5	582.3				
一日平均利用者数	21.5	21.8	21.8	20.7	266.9	22.3	22.3	22.8				
サービス	送迎	509	515	516	529	6,698	558.1	574.9				
	往路	511	519	521	534	6,736	561.3	576.5				
健康確認	復路	1,020	1,034	1,037	1,063	13,434	1,119.5	1,151.5				
	計	515	524	524	538	6,810	567.5	582.3				
別利用者数	入浴サービス	221	232	223	234	2,832	236	279				
	給食サービス	515	524	524	538	6,808	567.3	581.7				
日常生活動作訓練	515	524	524	538	6,808	567.3	582.3					
運動器機能向上	89	91	82	75	1,098	91.5	93					

(4) 利用終了者の終了理由

(単位：人)

終了理由	男性	女性	合計
介護保険施設への入所	3	3	6
辞退	4	13	17
死亡	3	3	6
合計	10	19	29

(5) 年間行事参加者数

実施期間	内容	参加者数
5月15日～20日	フラウアーレバジメント	59
6月6日	演芸ボランティア (ギター)	22
6月8日	演芸ボランティア (マジック)	22
6月22日	法話	22
7月23日～28日	夏祭り	133
	縁日	(23)
	演芸ボランティア (よさこい)	(23)
	演芸ボランティア (三味線)	(24)
	縁日	(18)
	縁日	(23)
	縁日	(22)
8月8日～22日	イベント	90
	演芸ボランティア (バイオリン)	24
	演芸ボランティア (フラダンス)	18
	体操ボランティア	23
	法話	25
9月17日～22日	敬老を祝う会	138
	演芸ボランティア (落語)	(24)
	演芸ボランティア (フオーケダンス)	(22)
	演芸ボランティア (三味線・民謡)	(26)
	演芸ボランティア (かつ(ぼれ)	(21)
	演芸ボランティア (マジック)	(19)
	演芸ボランティア (三味線・民謡)	(26)
10月22日～11月10日	トライズ	65
11月19日～24日	クリスマスリース作り	66
12月3日・10日・22日	クリスマスコンサート	67
12月25日	クリスマス会	26
1月4日～7日	お正月	62
1月9日	演芸ボランティア (マジック)	22
2月1日～2日	節分豆まき	38
2月13日	生きいき元気サロンと交流会	25
2月11日～16日	バレンタインBOX作り	63
3月6日	法話	21

(6) ボランティア受入状況

活動内容	活動日数	延べ人数
介護ボランティア	51	51
体操ボランティア	1	3
演芸ボランティア	12	76

(7) 職員研修

月 日	内 容	人 数
5月23日	集団指導	1
7月1日	生活期リハビリテーション研修会	1
10月11日・12日	OJTスキルアップ研修会	1
10月23日	要介護施設・事業従事者向け高齢者虐待防止研修	1

(居宅介護支援事業)

(1) 要介護度別請求人数 (平成31年3月31日現在)

区分	請求人数	
	平成30年度	前年度
要支援	0	0
要介護1	79	61
要介護2	49	46
要介護3	24	19
要介護4	11	8
要介護5	9	10
合計	172	144

(2) 年齢階層別利用者数 (平成31年3月31日現在)

年齢区分	利用者数	
	平成30年度	前年度
～64歳	6	9
65歳～69歳	9	5
70歳～74歳	16	17
75歳～79歳	33	23
80歳～84歳	43	32
85歳～89歳	34	28
90歳～	31	30
合計	172	144

(3) 男女別利用者数 (平成31年3月31日現在)

性別	利用者数	
	平成30年度	前年度
男性	79	67
女性	93	77
合計	172	144

(4) 契約者数の推移

年度 月	平成30年度		前年度	
	利用者数 (契約者)	新規 終了	利用者数 (契約者)	新規 終了
4月	142	0	142	1
5月	142	3	146	4
6月	146	8	146	5
7月	155	16	147	3
8月	158	8	148	2
9月	168	12	148	3
10月	171	4	146	1
11月	168	3	147	3
12月	167	4	145	3
1月	169	4	146	4
2月	165	3	149	4
3月	166	7	149	5
合計		72		38
月平均	160		147	33

(5) 職員研修

月 日	内 容	人 数
6月13日	第1回草加市医療・介護多職種協働研修会	2
6月20日	第23回SYRC-R (シルク・アール)	1
7月19日	在宅医療研修会	1
9月6日	地域包括ケアシステムの構築に向けた	1
9月18日	第4回スキルアップ研修「虐待対応権利擁護の視点」	1
10月11日	なるほど納得！認知症研修～様々な角度から学ぼう～	1
10月23日	神経難病の理解～よりよい支援を目指して～	1
11月14日	地域医療における多職種連携	1
12月3日	第5回介護支援専門員レベルアップ研修	1
2月12日	介護支援専門員実務研修実習指導者研修	1
3月7日	在宅難病患者支援者研修会	1

(地域包括支援センター事業)

(1) 総合相談支援

区分	件数	平成30年度		前年度	
		平成30年度	前年度	平成30年度	前年度
1 相談件数	電話	3,292件	3,728件		
	来所	263件	266件		
	訪問	1,412件	1,866件		
	合計	4,967件	5,860件		
2 権利擁護	成年後見制度に関すること	17 (実件数)	2件 (実件数)		
	高齢者虐待に関すること	35 (実件数)	6件 (実件数)		
	合計	52 (実件数)	8件 (実件数)		
	特定高年者予防プログラム作成数	0件 (請求件数)	0件 (請求件数)		
3 介護予防ケアマネジメント	要支援者予防プログラム作成数	2,286件 (請求件数)	2,079件 (請求件数)		
	合計	2,286件 (請求件数)	2,079件 (請求件数)		
	特定高年者決定数	0件	0件		
	地域包括ケア会議の開催	22回	12回		
4 包括的・継続的ケアマネジメント	事業者交流会の開催	1回	2回		
	合計	23回	14回		
	ケアマネジャーからの相談	48件	51件		
	サービス事業者からの相談	21件	11件		
	合計	69件	62件		
	地域包括支援センター会議への参加	12回	12回		
5 その他	保健師・看護師会議への参加	5回	6回		
	主任介護支援専門員会議への参加	5回	6回		
	社会福祉士会議への参加	4回	5回		
	合計	26回	29回		

(2) 地域活動報告

実施日	事業内容	主催
4月16日・6月18日・8月20日・10月17日・12月19日・2月20日	介護者のつどい	谷塚・瀬崎地域包括支援センター
1月16日	圏域内地域ケア会議	谷塚・瀬崎地域包括支援センター
8月31日・9月28日・10月13日	谷塚地区圏域内地域ケア会議	谷塚・瀬崎地域包括支援センター
10月16日	瀬崎地区圏域内地域ケア会議	谷塚・瀬崎地域包括支援センター
6月5日・12日・19日・26日 7月3日・10日	谷塚地区介護予防普及啓発事業	谷塚・瀬崎地域包括支援センター 鳳永病院
10月22日・29日 11月5日・12日・19日・26日	瀬崎地区介護予防普及啓発事業	谷塚・瀬崎地域包括支援センター
10月9日	谷塚地区民生委員意見交換会	谷塚・瀬崎地域包括支援センター
10月5日	瀬崎地区民生委員意見交換会	谷塚・瀬崎地域包括支援センター
4月23日・5月31日・7月12日 8月6日・17日・21日 9月14日・10月17日・11月15日・12月13日 2月1日・15日	個別地域ケア会議	谷塚・瀬崎地域包括支援センター
7月3日・10月18日・2月19日	圏域内ケアマネ交流会	谷塚・瀬崎地域包括支援センター
4月24日	圏域内事業者交流会	谷塚・瀬崎地域包括支援センター
6月25日 10月2日・18日 3月12日	認知症サポーター養成講座	谷塚・瀬崎地域包括支援センター 草加市長寿支援課
5月9日	社会福祉協議会年度打合せ	谷塚・瀬崎地域包括支援センター
5月12日・6月9日・7月14日・8月18日・9月8日・10月13日・11月10日・12月8日・1月12日・2月9日・3月9日	オレンジカフェ	谷塚・瀬崎地域包括支援センター さわやかたすけい草加
4月2日・11日・14日・19日・25日 5月9日(2回)・12日・17日・21日 6月4日・12日・18日 7月4日・5日・6日・9日・14日・18日・23日・25日 9月26日 10月3日・10日 11月14日・16日 12月11日、1月12日・18日、2月1日・28日	出前講座	谷塚長寿会他

4月10日・9月10日	谷塚地区民生委員・児童委員協議会	草加市社協
4月13日・6月8日・9月7日・12月14日	瀬崎地区民生委員・児童委員協議会	草加市社協
10月16日	まち好きミーティング	草加市社協
4月11日・6月14日・8月9日・10月19日 ・12月12日	GH説明運営推進会議	GH説明
5月29日・7月24日・9月26日・2月12日	GHケアサポートそうか瀬崎運営推進会議	GHケアサポートそうか瀬崎
5月22日・7月24日・9月25日・11月27日 ・1月15日	GH愛の家谷塚運営推進会議	GH愛の家谷塚
9月20日	いにしえの郷・緑運営推進会議	いにしえの郷・緑
3月28日	さわやかたすけあい草加運営推進会議	さわやかたすけあい草加
3月29日	やつかりハビリデイサービス運営推進会議	やつかりハビリデイサービス
11月21日	メンタルネットワーク会議	草加市長寿支援課
5月15日・8月9日・9月26日・11月19日 ・1月11日・3月20日	認知症地域支援推進委員連絡会議	草加市長寿支援課
8月31日・3月25日	市全体地域ケア会議	草加市長寿支援課
11月26日	圏域内ネットワーク会議	草加市長寿支援課
3月19日	見守りネットワーク会議	草加市長寿支援課
3月28日	つどい連絡会	草加市長寿支援課
7月31日・11月28日・1月29日・3月18日	自立支援型ケア会議	草加市長寿支援課
2月18日	キャラバンメイト連絡会	草加市長寿支援課
11月9日・2月20日	困難事例検討会	草加市長寿支援課
11月20日	介護保険推進委員会	草加市長寿支援課
3月26日	多職種連携研修会	草加市長寿支援課
5月27日・6月19日	町会総会	第三町会等
7月19日・8月23日・9月17日	谷塚地区社協	谷塚地区社協
8月21日・9月17日	瀬崎地区社協	瀬崎地区社協

(3) 職員研修

月 日	内 容	人 数
4月9日	初期集中支援チーム	2
4月20日	はろーケアマネ	2

5月8日	認知症推進員研修	2
5月14日・18日	高齢者虐待対応専門員研修	1
5月22日	認知症初期集中支援チーム研修	2
5月23日	市町村職員管理職・地域包括支援センター長 合同研修	1
6月12日	自立支援型ケア会議研修	1
6月14日	東武医療圏域認知症地域支援懇談会	1
7月25日	藤市自立支援型ケア会議研修	1
9月5日	認知症疾患医療センター研修	1
10月15日	地域包括支援センターの介護者支援セミナー	1
10月17日	認知症初期集中支援研修	2
10月24日	はろーケアマネ相談窓口	1
10月19日	主任介護支援専門員更新研修	1
11月5日	主任介護支援専門員更新研修	1
11月12日	地域包括支援センター職員課題別研修	1
11月20日	在宅医療・介護多職種協働研修会	1
12月1日・8日・13日・20日	主任介護支援専門員更新研修	1
1月15日	高齢者介護予防事業研修	1
1月17日	虐待対応専門員フォローアップ研修	1
1月28日	認知症地域支援検討会と連絡会	1
1月30日	草加市地域福祉講座	1
2月1日	埼玉県家族介護者支援特別セミナー	1
2月15日	認知症推進員スキルアップ研修	2
2月18日	キャラバンメイト連絡会	1
2月25日	アセスメントマニュアル研修	1
3月6日	はろーケアマネ相談窓口	1
3月7日	認知症疾患医療センター医療連携協議会研修	1
3月14日	コミュニケーションソーシャルワーク交流会	1

草加市高齢者福祉センターふれあいの里

I 概要

高齢者の生きがいづくりや、子供達が安心・安全な場所として過ごせるようサービスの提供に努めました。
また、地域住民等との交流事業を通して、「ふれあいの里まつり」を6月10日に開催し、潤いと活気に満ちた交流の場となる施設運営と事業運営に努めました。

II 高齢者福祉センター事業

1 事業概要

高齢者の健康や身体機能の維持向上及び教養・余暇活動の充実を図ることを目的とし、高齢者福祉及び世代間交流を中心とした各種事業を実施しました。
地域住民等との交流事業を行い、潤いと活気に満ちた交流の場となるよう施設運営及び事業運営に努めました。
また、高齢者やその家族が抱える様々な悩みに応じた生活相談の充実を図り、健康で穏やかな暮らしが営めるよう努めました。

2 実施概要

- (1) 各種事業・講座等の実施
知識・教養の向上や運動機能の維持・増進を図ることを目的とした各種教室・講座等を実施しました。高齢者の生きがいづくりや健康づくり、介護予防となる健康大学「ふれあいかレッジ」事業を実施しました。
また、子供向けの講座や男性料理教室等も実施し、地域に根付いた施設運営を行いました。
- (2) 世代間交流事業
世代間交流事業の主体となるふれあいの里まつりでは、サークル発表会を合同開催し、谷塚西部ブロッツク町会をはじめ、近隣地域の方々の協力のもと、模擬店や革工芸体験、子供の広場、抽選会等を行い、様々な世代との交流の場を提供しました。
- (3) 健康相談・生活相談等の実施
看護職員による血圧測定や嘱託医による健康相談や健康講座を実施し、心身の健康維持や不安の解消等を助言し、要介護状態の予防に努めました。
また、高齢者が抱える様々な悩みや引きこもり等の解消並びに介護等の不安を軽減できるよう生活相談を実施するとともに、関係機関等との連携を密にし、健康的な生活を支援しました。
- (4) すこやかクラブ及びサークル活動団体等への利用促進と支援
すこやかクラブ団体利用者に対して、市や市社会福祉協議会等との連携を密にし、懇親会やカラオケ演奏等、大型バスでの送迎を含め定期的な活動の場を提供しました。
また、サークル活動団体に対して、サークル発表会の開催等活動の成果発表の

場を提供するとともに、代表者会議を開催するなど、自主的な活動や情報交換が行えるよう支援しました。

(5) 入浴サービス

入浴サービスについては、利用者が安心して利用できるように浴場内の事故や感染症等の防止のため衛生管理に努め、更衣室、浴槽及び給排水設備等、必要箇所の修繕を行い、適切な維持管理に努めました。

また、自宅での入浴が困難な方に対して、介助風呂の時間を提供しました。昨年度の入浴サービスについてのアンケート調査に基づき、継続した改善を行いました。

(6) 貸館事業

高齢者の余暇活動の充実と交流等を促進するため、高齢者やサークル、地域住民を対象に、和室・研修室等の貸出を行いました。

(7) 施設利用の促進

近隣の公共施設等との共催事業の開催や大型バスによる送迎サービスを行う中で、施設の利用促進を行いました。地域の子供達に対しても、交流広場・多目的室等を開放し、安心して過ごせるよう努めました。

また、利用者や市民からの苦情・要望等に対応し、安心安全で誰もが楽しめる施設利用に努めました。

(8) ふれあいの里運営協議会の開催

円滑な施設運営を行うために、利用代表者や地域の町会自治会の代表者等構成された運営協議会を定期的に開催し、地域に根付いた施設運営の向上に努めました。

(9) ボランティアの育成・活用

大集会室のカラオケサービスや、入浴サービスの受付、ふれあいの里まつりなどを通して、ボランティアの育成・活用に努め、施設運営の理解促進を図りました。

III 利用状況（年間総計）

	平成30年度	前年度
(1) 高齢者福祉センター	1 2 5, 8 9 7 人	1 5 8, 7 8 0 人

IV 安全対策

1 防災意識の向上

火災や地震等による災害発生を想定し、通報訓練、初期消火訓練、避難誘導訓練等を実施しました。

また、今年度は地震体験車による震度体験を行い、職員及び利用者の防災意識と知識の向上に努めました。

2 災害時の対応

災害時に対応するため、職員による避難経路の安全点検や消防設備の適正な維持管理に努め、始動訓練・作動点検等を行い、職員の防災技術力の向上に努めました。

V 職員研修

利用者が安心安全に利用できるよう、きめ細やかなサービスの提供を目指し、情報等の共有を図るため職員会議を行いました。

また、関係機関等が実施する各種研修会、講習会等へ積極的に参加し、職員の意識改革と資質の向上に努め、伝達研修も行いました。

(高年者福祉センター事業)

(1) 相談状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
件数	236	296	200	162	187	124
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	228	178	212	82	118	194
合計						前年度合計
2,217						2,260

(2) 教養講座等の開催

期 間	講 座 名	回 数	参加延人数
6月10日	ふれあいの里まつり	1	1,300
7月7日～2月5日	ふれあいカレッジ	17	217
7月7日・21日	ふれあい健康講座	2	96
7月21日～8月28日	夏休みみんなのラジオ体操	39	2,657
7月24日	夏休み陶芸教室	2	36
8月2日			
9月20日～11月22日	やさしい太極拳	10	132
10月6日	オータムコンサート	1	146
11月2日～12月14日	体側・ヨガ	6	107
11月27日	単手人形	2	39
12月13日			
12月8日・22日	ジュニアクッキング	2	22
1月10日～1月29日	初めてのハーモニカ教室	8	68
1月19日～2月16日	Men's Cooking ～男の料理～	3	31
2月6日	施設間交流将棋大会	1	16
2月23日	終活 ～老い支度・終活準備～	1	38

(3) すこやかクラブの利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
区分						
団体数	12	16	15	15	13	15
利用者数	155	241	212	188	173	181
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
区分						
団体数	12	15	15	13	15	14
利用者数	159	171	159	182	208	210
合計						前年度合計
2,239						174
2,382						

(4) 高齢者の送迎サービス状況

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
区分								
往路	713	774	740	801	741	713		
復路	648	731	703	765	670	656		
計	1,361	1,505	1,443	1,566	1,411	1,369	合計	前年度合計
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
区分								
往路	788	715	655	312	324	655	7,931	9,353
復路	759	699	633	309	328	633	7,534	8,790
計	1,547	1,414	1,288	621	652	1,288	15,465	18,143

(5) 浴室利用状況

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
区分								
男	3,850	3,910	3,652	3,895	3,784	3,357		
女	2,813	2,953	2,926	3,021	2,956	2,678		
計	6,663	6,863	6,578	6,916	6,740	6,035	合計	前年度合計
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
区分				※	※			
男	4,190	3,806	3,581			3,697	37,722	43,759
女	2,965	2,913	2,780			2,921	28,926	33,216
計	7,155	6,719	6,361			6,618	66,648	76,975

※1月から2月まで浴室修繕のため利用中止にしました。

(6) サークル活動の状況

(平成31年3月31日現在)

サークル名	会数	活動回数	サークル名	会数	活動回数
あいあいカラオケ会	15	23	陶芸友の会	19	72
健康アツククラブ	14	26	陶芸クロロの会	13	87
光友会	12	12	虹のキャンパス	10	29
コーラス風	20	34	新里将棋同好会	50	105
琴晴会	6	9	花みずき	27	50
サークル琴	4	47	フナイダンスクラブ	18	49
手芸サクラ	29	21	フオークダンス金のくっ	10	20
ステツプ・ホツプ	12	46	芙蓉会	7	14
スピリチュアルヨガ	8	36	ふれあいの里健康体操の会	14	24
ダンスサークルレモン	4	51	民踊の里	13	26

千絵会	3	38	よさこい新里	14	35
つくし会	1	23	さくら草の会	37	46
			合 計	360	923

(7) 研修室等の利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
区分							
研修室	(83)	(89)	(83)	(82)	(76)	(72)	(82)
1・2・3	1,212	920	945	876	796	783	927
研修室4	(37)	(36)	(31)	(27)	(30)	(32)	(35)
調理実習室	604	431	440	407	388	437	491
音楽室	(48)	(52)	(45)	(49)	(51)	(49)	(71)
	106	147	106	129	138	150	301
工芸室	(29)	(32)	(34)	(32)	(25)	(36)	(32)
	248	264	267	250	230	245	274
和室	(32)	(35)	(34)	(34)	(25)	(31)	(33)
板の間	231	192	192	150	131	149	165
大集会室	(0)	(0)	(1)	(1)	(0)	(0)	(0)
	0	0	4	80	0	0	0
小集会室	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)
	0	0	0	80	0	0	0
合 計	(229)	(244)	(228)	(226)	(207)	(220)	(253)
	2,401	1,954	1,954	1,972	1,683	1,764	2,158
月	11月	12月	1月	2月	3月	総 数	
区分							
研修室	(78)	(69)	(74)	(77)	(79)	(944)	
1・2・3	937	815	861	906	856	10,834	
研修室4	(38)	(34)	(29)	(31)	(52)	(412)	
調理実習室	504	403	393	379	739	5,616	
音楽室	(47)	(41)	(45)	(50)	(52)	(600)	
	162	100	115	178	163	1,795	
工芸室	(32)	(30)	(33)	(32)	(30)	(377)	
	273	242	264	262	268	3,087	
和室	(24)	(18)	(18)	(23)	(19)	(326)	
板の間	121	139	79	128	105	1,782	
大集会室	(0)	(2)	(3)	(2)	(0)	(9)	
	0	101	206	78	0	469	
小集会室	(0)	(2)	(1)	(0)	(0)	(4)	
	0	101	54	0	0	235	
合 計	(219)	(196)	(203)	(215)	(232)	(2,672)	
	1,997	1,901	1,972	1,931	2,131	23,818	

※ 合計はその他（草加市主催事業等）の人数を含めた数。

(8) 利用料の状況

(単位：円)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
金額	6,870	9,380	8,520	6,650	8,200	7,270	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
金額	11,530	7,820	6,260	6,660	8,540	12,890	100,590
							前年度合計
							163,050

(9) 職員研修

月 日	研 修 名	人 数
10月3日	平成30年度メンタルヘルス講習会	1
12月5日	平成30年度～デイズニー流接遇とクレーム対応基礎研修～	1
1月9日	市町村における包括的な相談支援体制の構築	1
1月21・24日	リスクマネジメント研修 大人コース	1
1月30日	平成30年度 草加市地域福祉講座	1
2月1日	平成30年度 アンガーマネジメント研修	1
3月7日	防犯講習	1

草加市障害者グループホームひまわりの郷

I 概要

ひまわりの郷は、市から指定管理者の指定を受ける中、施設の管理とともに施設利用者が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう生活の安心・安全を重視した支援を実施しました。更に支援内容の見直しを図り、共同生活の場における支援・援助を適切かつ効果的に行い、安心して過ごせる環境や安全の保持に努め、生活の豊かさを感じられるよう支援に努めました。

また、市、家族及び関係施設等との連携を図り、きめ細かいサービス提供に努めました。

さらに、家庭の事情等による居宅での介護負担軽減のため、一時的に援助が必要となった方に対し、短期入所の受入れを行いました。

II 共同生活援助（グループホーム）事業

1 事業概要

利用者一人ひとりの身体的、精神的な状況等に沿って、日常生活上の支援・援助を適切かつ効果的に行い、豊かな生活が送れるよう、個別支援計画を作成し、適切な共同生活援助のサービス提供を図るとともに、夜間を含めた支援体制等の強化及びサービスの質の向上を図りました。

2 実施概要

(1) 相談及び援助

利用者及びその家族が希望する生活や利用者の心身の状況等を把握し、家族や利用者の相談に応じるとともに、適切な助言、援助等を行いました。

(2) 家族・日中活動施設等との調整

家族（又はそれに代わる支援者）及び日中活動施設等と連絡を密に取り合い、利用者の状況を把握し、円滑で安定した生活が送れるよう支援しました。

(3) 日常生活支援

① 栄養と個々の嗜好を考慮し、バラエティに富んだ季節感のある食事を提供しました。

② 排せつ及び入浴については、利用者個々の能力や身体状況に応じた支援を行いました。

③ 身だしなみや清潔さに配慮した日々の生活上の支援を行いました。

また、必要に応じて季節毎の衣替えや衣類等の整理・整頓の支援を行いました。④ 衣料及び日用品等の買い物支援、日中活動施設等との諸手続を行いました。

また、施設内で買い物ができるよう出張販売会を開催し、家族とともに衣類等の買い物を楽しみました。

(4) 健康管理、服薬管理及び通院付添等

利用者の心身の観察と疾病予防等に努めるとともに、日中活動施設等との連携を取り、健康状態の把握に努めました。

また、医療機関、家族等と連携し、服薬治療を必要とする利用者が適切に服薬できるように、個々に合わせた介助及び支援を行うとともに、通院の必要性がある場合は、必要に応じて付き添いの支援を行いました。

(5) 預り金等管理

生活支援上、財産の保全と管理を必要とする利用者には代わって、管理に係る申し出を受け、利用者の所有する預り金等の管理を行いました。

(6) 地域交流

近隣施設や地域の行事等への参加により地域住民との良好な関係を築きました。

また、ボランティアや見学等の積極的な受け入れによりグループホームでの生活について、多くの方々を知っていただくよう努めました。

(7) 余暇支援の充実

レクリエーション活動や外出を通して、様々な体験をしながら、生活訓練の習得を兼ねた支援を行いました。

日中活動施設等が休みのときには、洗濯や掃除などの生活に必要な技術の訓練を行い、自立した生活に向けた支援を行いました。

(8) 家族との交流

食事会として、魚の解体ショーを行い、ちらし寿司を用意し、家族の参加・協力を得ながら、利用者と共に親睦を深めることができました。

III 短期入所（ショートステイ）事業

1 事業概要

居宅において障がい者の介護を行う家族等が疾病その他の理由により、短期入所（ショートステイ）を必要とする障がい者に対し、受入れ体制を整え、市との連携の下、適切なサービスを提供しました。

2 実施概要

(1) 緊急一時保護

市内の緊急かつ一時的な保護を必要とする障がい者に対して短期入所のサービスを実施しました。

また、短期入所の定員のうち1名分は、緊急一時保護のために確保しました。

(2) 介護の負担軽減（レスパイト）

居宅で障がい者を介護する家族等の負担を軽減するため、短期入所を実施しました。

(3) 生活訓練

障がい者自身の生活の質を高めるための生活訓練の機会として、サービスを提供しました。

IV 安全対策

常に施設・設備の安全管理に努めるとともに、消防機関の協力を得て、避難誘導訓練や初期消火訓練等を実施し、職員と利用者一人ひとりの防災意識の向上に努めました。

V 職員研修

事業の円滑な運営と適切なサービスを提供するため、関係機関等が実施する各種研修会に積極的に参加するとともに、業務中の様々な機会を通して研鑽に努め、職員の意識高揚と資質の向上、技術力の向上に努めました。

(共同生活援助 (グループホーム) 事業)

(1) 入居状況 (定員 30 人)

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月
人	男性	20	20	20	20	20	20
	女性	10	10	10	10	10	10
	合計	30	30	30	30	30	30
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月
人	男性	20	20	20	20	20	20
	女性	10	10	10	10	10	10
	合計	30	30	30	30	30	30

(2) 年齢別状況 (平成 31 年 3 月 31 日現在)

年齢	25歳～	30歳～	35歳～	40歳～	45歳～	50歳～	55歳～	60歳～	65歳～	平均年齢
性別	29歳	34歳	39歳	40歳	49歳	54歳	59歳	64歳	70歳	
男性	0	2	2	6	5	3	1	0	1	45.4歳
女性	1	1	0	1	3	2	1	1	0	47.1歳
合計	1	3	2	7	8	5	2	1	1	45.9歳

※ 最少年齢 29 歳 最高年齢 67 歳

(3) 障害支援区分 (平成 31 年 3 月 31 日現在) (単位：人)

	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	計
男性	3	5	3	9	20
女性	1	2	3	4	10
合計	4	7	6	13	30

(4) 通所・通勤状況 (平成 31 年 3 月 31 日現在)

通所・通勤先	人数	送迎の有無
つばさの森	7	自主通所
そよかぜの森	5	送迎あり
であいの森	2	送迎あり
榮光の家	1	送迎あり
れんげ草	1	送迎あり
あしかび	4	送迎あり
青空の家	4	送迎あり
青柳太陽の家	2	送迎あり
めだか工房	1	自主通所

生徳診療所	1	自主通所
蒲公英の丘	1	送迎あり
吉野家東京工場	1	自主通勤
合 計	30	

(5) 施設見学受入状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
人	1	6	1	1	0	0
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人	0	0	0	0	0	8
						合 計
						17

(6) 職員研修

① 外部研修

月 日	研 修 内 容	参加人数
5月21日	平成30年度集団指導	1
10月18日	管理職向けメンタルヘルスラインによるケア研修	1
3月18日	施設職員による虐待防止～通報漏れゼロを目指して～	1
3月19日	平成30年度障害福祉サービス事業所管理者及び障害児(者)施設長会議	1

② 内部研修

月 日	研 修 内 容	参加人数
6月5日	虐待について	3
6月13日	虐待について	4
2月12日	インフルエンザの予防法について	15
3月26日	利用者の呼称・虐待防止について	14
3月27日	利用者の呼称・虐待防止について	13

(短期入所 (ショートステイ) 事業)

利用状況

(単位：人・日)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	前年度合計
訓練・ケア・ト	7	4	5	6	4	4	46	67
緊急	0	0	0	0	1	1	15	11
合計	7	4	5	6	5	5	61	78
延べ利用日数	21	13	15	20	24	43	359	361
区分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計
訓練・ケア・ト	3	3	3	2	0	5	46	67
緊急	3	3	2	1	2	2	15	11
合計	6	6	5	3	2	7	61	78
延べ利用日数	53	62	38	16	12	42	359	361

障害者総合支援センター

I 概要

障害者総合支援センターは、障がい者の総合相談の窓口として、草加市における相談支援の中核的な役割を担う草加市基幹相談支援センターと埼玉県東部地域（草加市・八潮市・三郷市・越谷市・吉川市・春日部市・松伏町）を中心に、障がい者の就労についての相談業務及び就職後の職場定着支援業務を行う東部障がい者就業・生活支援センターみらいと、草加市障害者就労支援センターの3事業を行いました。障がい者の総合相談窓口の拠点として、一体的で効果的な事業展開を図りました。

II 草加市基幹相談支援センター

1 事業概要

草加市基幹相談支援センターは、草加市における障がい者の相談支援の中核的な役割を担うセンターとして、相談支援体制の強化、相談支援事業の標準化、虐待防止及び権利擁護への取り組み、困難事例の対応、研修などの業務を行いました。

また、障がい者の権利や自己決定を保障できるよう、身近な地域での相談や、保健・医療、教育、就労等の関係機関の連携による中立性・公平性・専門性の確保等の視点から、相談支援体制の整備と相談支援員等の質の確保に努めました。

2 事業概要

(1) 総合的・専門的な相談支援の実施

障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するため、障がい者やその保護者及び障がい者等の介護を行う者からの相談に応じ、必要な情報の提供や助言等を行いました。また、障がい者等に対する虐待の防止とその早期発見のための関係機関との連絡調整を行いました。

(2) 成年後見制度利用支援事業の実施

成年後見制度を利用することが有用であると認められる障がい者に対し、情報提供や助言、成年後見サポートセンター等との連携を図り支援しました。

(3) 地域の相談支援体制強化への取り組み

地域の相談支援事業者に対する指導・助言を行いました。

新規の相談支援事業所に対して立ち上げに伴うサポート等を行いました。地域の障害福祉サービス事業者等との連携を図るため、市内事業所連絡会を開催しました。

虐待防止の研修を開催し、権利擁護では関係機関との関わりを継続しました。

草加市自立支援協議会の事務局として、草加市や委託相談支援事業所と連携し、各種会議を開催しました。

(4) 特定相談支援事業の実施

障がい者の様々なニーズを把握するため、基本相談及びアセスメントを実施し、サービス利用支援を行いました。また、サービス計画実施後のモニタリングを行い、継続サービス利用支援を行いました。

- (5) 利用者へのサービス向上及び利用促進
一人ひとりの相談に応じ、それぞれの問題解決に向けて適切な情報の提供や助言を行うよう心がけ、必要な障害福祉サービス等に結びました。また、フォーマルな支援だけでなく、インフォーマルな資源等の活用も図りました。
- (6) 公正性・中立性の確保・向上
草加市や地域の障害福祉サービス事業者等と連携を図りながら、基幹相談支援センターとして利用者の立場に立った相談支援を行うため、公正性・中立性の確保・向上に努めました。
- (7) 苦情処理
苦情を迅速に受け付け、内部で検討会議を開き適切な対応を図りました。

III 東部障がい者就業・生活支援センターみらい 草加市障害者就労支援センター

1 事業概要

東部障がい者就業・生活支援センターみらいは、埼玉県東部圏域に在住する障がい者の就業支援及び生活支援を広域に行いました。就業及び生活に関する課題に応じて、障がい者を雇用している企業及び福祉関係機関との連携の下、就業面及び生活面の両面から効果的な支援を行いました。

草加市障害者就労支援センターは、草加市内に在住する障がい者を対象に、就職に伴う相談及び助言を行い、みらいと一体となって就労支援を行いました。

2 実施概要 (両センター共通)

- (1) 就労相談 (アセスメントチーム)
当センターは、利用者、家族、支援機関及び企業からの就労に関する相談業務を行いました。その際に障がい特性の把握や生育歴や家族構成に関するアセスメントシートを作成し支援の際の適切なツールとして活用しました。
- (2) アセスメント
利用者へアセスメントの手法の一つとして、幕張ワークサンプル (MWS) やキャリアアインサイト (職業適性診断ソフト) 等を活用し、仕事に携わるうえでの必要な能力や資質の確認をご本人とともに行いました。
また、必要に応じて各関係機関と連携し継続した就労に必要な情報収集を行いました。その結果、地域の職業センターでの職業評価や就労移行支援・就労継続支援等の事業所の情報提供を行い各機関に結びました。
- (3) 就労前支援
利用者及び家族の就労に関する理解を深めるため、障がい者雇用を予定している企業の見学を行い、利用者目線のジョブマッチングに努めました。(ジョブマッチングとは職業準備適性を示します。)
また、様々な職種の職場実習先の開拓や職業能力開発センター主催の障害者

委託訓練を利用し、アセスメント兼体験の場及びジョブマッチングの場として活用しました。

さらに、必要に応じてハローワークへの同行や交通機関利用の通勤支援を行いました。

(4) 職場開拓（アセスメントチーム）

当センターの独自開拓企業や埼玉県障害者総合雇用サポートセンター及び埼玉県の雇用開拓員等との連携を図りながら地域企業の職場開拓を行い、障がい者の雇用の場の確保に努めました。

また、ハローワークから企業等の紹介があった場合には、職員がその事業所へハローワークの職員とともに訪問や見学を行い、実際の職場環境や仕事内容を確認したうえで、該当する利用者をイメージし、ジョブマッチングを図りました。

(5) 集中支援（定着支援チーム）

就労前や就労開始時期において、集中的な支援が必要とされる場合は、埼玉障害者職業センター（国事業）や埼玉県障害者雇用総合サポートセンター（県事業）へジョブコーチの活用、派遣依頼を必要に応じて行いました。

また、圏域内の他市障害者就労支援センターや福祉施設及び特別支援学校と情報共有を行い、各機関との協力・連携を図りました。

支援の内容としては、利用者の業務内容の確認や職場環境へ適応するための調整や支援のほか、企業の従業員と利用者の人間関係の構築に向けたパイプ役としての支援を心がけました。

(6) 定着支援（定着支援チーム）

就労開始から概ね6か月程度においては、企業と利用者の状況を踏まえたりえで、定期的な訪問や連絡等の支援を行いました。

また、関係機関等と連携を図りながら適切な支援を行うとともに、利用者の企業での定着度合いを勘案したうえで、支援の頻度を減らしながら本人が自立して働けるような支援を行いました。

さらに、職場定着の一環として就職者に対して「職場定着セミナー」を年4回開催し、就労上の課題や達成感を就職者同士で意見交換し就労継続に繋がりました。

そのほかに、やむを得ない事情により就労継続が困難な場合は、企業や障がい者にとつての負担を最小限に抑えるため、離職支援も行いました。

(7) 地域ネットワークの構築及び活用

草加市、八潮市及び吉川市の自立支援協議会の各部会（毎月～3ヵ月に1回の頻度）への参加、各市障害者就労支援センターとの連携を強化するために「東部圏域障害者就労支援センター連絡会」の開催（年2回）、草加市障害者就労支援連絡会議の開催（年2回）を通じて、地域における就労支援ネットワークの構築と質の向上に努めました。

(8) 苦情処理

苦情を迅速に受け付け、内部での検討会議等を開き適切な対応を図りました。

IV 職員研修

各種研修会への参加により的確な情報を把握するとともに、障害者総合支援センターとして勉強会（年9回）や伝達研修を行う等、職員の意識改革と資質の向上に努めました。

草加市基幹相談支援センター

ア 登録者等人数 (平成 31 年 3 月 31 日現在)

種 別	人 数
登 録 者	487
うち一般相談	140

イ 登録者等障がい別人数 (平成 31 年 3 月 31 日現在)

区 分	身 体	知 的	精 神	発 達 障 害	手 帳 な し	計
登 録 者	59 【17】	396 【95】	21 【18】	4 【3】	7 【7】	487 【140】
重 複 障 害	22	49	2	3	0	76

【 】内は一般相談

ウ 計画相談 (平成 31 年 3 月 31 日現在)

種 別	人 数
新 規 計 画	2
モニタリング・継続計画	371
モニタリング	151

エ 支援方法 (平成 31 年 3 月 31 日現在)

区 分	件 数	うち発達障害
訪 問 相 談	921	1
面 接 相 談	183	2
電 話 相 談	3,310	17
関 係 機 関 連 携	820	10
電 子 メ ー ル	27	0
F A X ・ 郵 便	47	0
ケ ー ス カ ン フ ァ レ ン ス	122	0
同 行	83	0
そ の 他	24	0
合 計	5,537	30

(延べ件数)

オ 支援内容

(平成 31 年 3 月 31 日現在)

区 分	件 数	うち発達障害
① 福祉サービスの利用に関する支援	4,274	3
② 社会資源の活用に関する支援	139	3
③ 障害や病状に関する支援	142	0
④ 健康・医療に関する支援	332	0
⑤ 情緒不安定に関する支援	109	1
⑥ 保育・教育に関する支援	1	0
⑦ 家族関係・人間関係に関する支援	203	17
⑧ 家計・経済に関する支援	57	0
⑨ 社会生活力に関する支援	8	0
⑩ 就労に関する支援	50	0
⑪ 社会参加に関する支援	2	0
⑫ 余暇活動に関する支援	3	0
⑬ 権利擁護 (成年後見) に関する支援	34	0
⑭ 問い合わせ (①～⑬に該当しない)	21	0
⑮ その他	162	6
合 計	5,537	30

(延べ件数)

カ 関係機関との連携強化の取り組み

(平成 31 年 3 月 31 日現在)

①主催

月 日	会 議 名
6月8日	第1回自立支援協議会相談支援部会
6月15日	第1回市内事業所連絡会
7月13日	第1回自立支援協議会くらし部会
8月10日	第1回自立支援協議会就労支援部会
8月29日	平成30年度基幹相談支援センター研修 「基礎から学ぶ成年後見制度」
9月14日	第2回自立支援協議会相談支援部会
10月12日	第2回自立支援協議会くらし部会
11月9日	第2回市内事業所連絡会
12月14日	第3回自立支援協議会相談支援部会
1月11日	第3回自立支援協議会くらし部会
2月8日	第2回自立支援協議会就労支援部会
3月18日	平成30年度基幹相談支援センター研修 「施設職員による虐待の防止～通報漏れゼロを目指して～」

②参加

月	日	会 議 名	人数
5月	17日	第1回成年後見事業運営委員会	1
7月	13日	平成30年度第1回草加市メンタルネットワーク交流会	1
8月	24日	平成30年度埼玉県相談支援体制整備事業第1回東部ブロック相談支援体制整備検討会議	2
8月	27日	第2回成年後見事業運営委員会	1
11月	13日	第3回成年後見事業運営委員会	1
11月	21日	平成30年度第2回草加市メンタルネットワーク交流会	1
11月	27日	草加保健所管内精神障害者地域支援体制構築会議	1
2月	12日	第4回成年後見事業運営委員会	1
2月	19日	圏域内ケアマネ研修会	2
2月	25日	平成30年度埼玉県相談支援体制整備事業第2回東部ブロック相談支援体制整備検討会議	1
2月	27日	春日部市自立支援協議会相談支援部会研修会	2
2月	28日	草加保健所管内精神障害者地域支援体制構築会議(代表者会議)	1

キ 職員研修等

月	日	研 修 名	人数
6月	5日・8日	平成30年度埼玉県障害者相談支援従事者初任者研修	1
7月	20日		
8月	27日・28日		
6月	25日	平成30年度障害支援区分認定調査員研修	1
8月	22日	第31回支援者のための成年後見活用講座	1
8月	29日	平成30年度社会福祉援助技術基礎研修	1
9月	5日・12日		
9月	1日・2日	第4回チイクラフォーラム&全国ネット巡回フォーラム	1
9月	11日	草加市障害児通所支援事業所連絡協議会第1回発達支援協議会	1
9月	25日	草加市障害児通所支援事業所連絡協議会第1回発達支援協議会	2
10月	2日	平成30年度第1回埼玉県基幹相談支援センター協議会担当職員研修	1

10月3日・4日・5日	平成30年度意思決定支援と虐待防止に関する研修会	1
10月10日	平成30年度相談支援・就業セミナー	1
11月8日	草加市障害児通所支援事業所連絡協議会 第5回発達支援協議会	2
11月14日	文書管理と情報公開・個人情報保護制度及び文書起案について	1
11月28日	八潮市障がい福祉サービス事業所研修会	2
12月14日	医療と保健・福祉の連携研修 ～精神障害にも対応した地域包括ケアシステムを考える～	1
12月17日	草加市障害児通所支援事業所連絡協議会 第8回発達支援協議会	1
1月9日	草加市市内勉強会	3
1月18日	草加市障害児通所支援事業所連絡協議会 第9回発達支援協議会	2
1月30日	平成30年度草加市地域福祉講座	1
3月14日	平成30年度第2回埼玉県基幹相談支援センター・協議会担当職員研修	1

(東部障がい者就業・生活支援センターみらい)

(1) 登録者等人数 (平成31年3月31日現在)

区分	人数
登録者	1,305
就職者	779

(2) 登録者等市町別人数 (平成31年3月31日現在)

区分	草加市	越谷市	春日部市	八潮市	
登録者	505	227	165	130	
就職者	288	143	105	67	
区分	三郷市	吉川市	松伏町	その他	計
登録者	83	71	57	67	1305
就職者	53	48	28	47	779

(3) 登録者等障がい別人数 (平成31年3月31日現在)

区分	身体	知的	精神	その他	計
登録者	150	775	378	2	1305
就職者	67	538	174	0	779

(4) 職員研修等

月日	研修名	人数
5月22～25日	就業・生活支援センター就業支援担当者研修	1
5月24、31日、 6月7日、19日	ジョブサポーター研修	1
6月5、12、19日、 7月10、17日	スーパーバイザー研修	1
7月24～26日	就業支援基礎研修	1
8月7日～10日	就業・生活支援センター就業支援担当者研修	1
8月24日	企業と支援機関の障害者指導スタッフ研修	1
9月14日	就業・生活支援センター基礎講座	1
9月16、17日	リカバリー全国フォーラム2018	1
9月26日	障害者就労アセスメント	1
12月10日	県南地域障害者雇用研究会	2
1月16～17日	就労移行支援の在り方を学ぶ研修	1

(草加市障害者就労支援センター)

(1) 登録者等人数 (平成31年3月31日現在)

区分	人数
登録者	494
就職者	264

(2) 登録者等障がい別人数 (平成31年3月31日現在)

区分	身体	知的	精神	その他	計
登録者	66	275	153	0	494
就職者	28	169	67	0	264

(3) 職員研修等

月日	研修名	人数
8月7日・28日 9月3日	社会福祉援助技術基礎研修	1
8月29日	基礎から学ぶ成年後見制度	1
10月10日～12日	主任就業支援担当者研修	1
12月14日	医療と保健・福祉の連携研修	1
12月15日・16日	発達障害就労支援セミナー	1
1月9日	草加市庁内勉強会	1
1月30日	草加市地域福祉講座	1

生活介護事業所そよかぜの森

I 概要

そよかぜの森は、市との連携・協力の下、障がい者の福祉の増進と生活の質の向上を目指し、生活介護事業の他、日中一時支援事業の新たな取り組みを実施しました。

利用者個人を最優先した個別支援計画の立案並びにアセスメントの積み重ねから個々の特性を理解し、気持ちに寄り添った支援を心掛け虐待防止に努めました。

また、理学療法士・作業療法士の専門性を生かしたプログラム等の提供と、主治医及び関係機関と連携し自宅での支援と同等な医療的ケアの実施を行いました。

II 生活介護事業

1 事業概要

入浴・排泄・食事等の介護及び利用者同士の交流または、職員との関係性の構築を意識し社会性を養うための多様なサービスの提供と、利用者が個々のニーズに即したサービスの受けることができるよう個別の特性に配慮した支援を行いました。

2 実施概要

(1) 知的障がい者等向けサービス

① 日中活動

季節に応じた園芸や創作活動、講師による音楽療法やエアロビクスの他、足湯等のリラクゼーション活動や余暇支援等を提供し、日々の充実と心の安定を図れるよう支援しました。特に夏季のウォーターレクリエーションの実施では、新たな個性が発見できる等、充実した時間を提供することができました。

② 作業活動

作業療法士による利用者個々の能力評価に基づき、一人ひとりの特性に合わせた作業内容を見極め、今後の生産活動の基本となるよう支援を行いました。

③ 健康の維持・増進

日課としてのラジオ体操、活動室や駐車場スペースを利用した全身運動及びそよか公園等への散歩を行い基礎体力の向上を図りました。

④ 食事サービス

給食委託業者と連携し、徹底した衛生管理・栄養管理の下、安全かつ栄養バランスの取れた献立を提供しました。

また、楽しみや季節感を意識し、メニューを選択できるセレクトメニューの実施や行事食の充実に努めました。

⑤ 送迎サービス

利用者宅を考慮した独自の送迎ルートを開拓し、法人所有の中型バスで草加市内を循環するスポット送迎を実施しました。

(2) 重症心身障がい者向けサービス

① 日中活動

利用者個々の能力や興味及び障がい特性を考慮した創作活動、講師による音楽療法や季節が感じられる行事の他、ボランティアによるムーブメント活動やミニコンサート、レクリエーション活動を実施しました。

また、スヌーズレンを定期的に実施し、視覚・聴覚・触覚等の五感を刺激すること心地よさが得られるリラクゼーション活動を実施しました。

② 身体機能の向上

嘱託医による定期的な診察と、理学療法士・作業療法士による専門的な理学療法の指導の下に計画された運動を実施しました。

また、外気浴や散歩を通じて精神的安定と健康な体作りに取り組みました。

③ 食事サービス

給食委託業者と連携し、安全かつ栄養バランスの取れた献立で楽しみと季節感を感じ、徹底した衛生管理・栄養管理のある給食を提供しました。

また、利用者の障がい特性を考慮して、刻み・ペースト等の加工を行い、個別に対応した食事提供を行いました。

④ 送迎サービス

送迎を希望する利用者へ安全に配慮したドア to ドアによる送迎を行いました。また、定期的にはドライバーと会議を実施し、送迎コースや運行時間などの見直しや安全運転に配慮した運行及び添乗職員とドライバーの連携に努めました。

⑤ 入浴サービス

ご自宅での入浴が困難な方を優先として、特殊機械浴槽による入浴サービスを実施し、介護者の負担軽減と身体の衛生保持に努めました。

⑥ 医療的ケア

嘱託医による定期的な検診を行うとともに、主治医からの指示・指導を受け、ご家族の同意の下、看護師による喀痰吸引及び経管栄養等の医療的ケアを実施しました。

III 日中一時支援事業

障がい者等の家族の就労支援と日常的に介護している家族の一時的な休息を確保するとともに、家族の緊急時における障がい者等の一時預かりとして、日中一時支援事業を開始しました。

IV 健康管理

嘱託医による定期的な診察の実施と看護職員等によるバイタルチェック等から利用者の健康状態を把握し、必要に応じて通院同行や電話連絡等による主治医及び関係機関との連携を取り利用者の情報共有と健康管理に努めました。

なお、感染症の予防に努め、発症に対しては家族との連携のもと迅速な対応を図り蔓延防止に努めました。

V 相談援助

利用者や家族等からの相談に対し、個人面談や家庭訪問を実施しました。必要に応じ、関係機関と連携し、迅速かつ適切に対応するとともに、充実した日常生活や社会生活を送ることができるよう支援しました。

また、専任アドバイザーによる講演会と個別相談の実施や保護者懇談会を開催し、障害種別を超えた情報や悩みを共有することで精神的な支えと学び合う機会の提供に取り組みました。

VI 地域交流

地域の方々と利用者の交流を促進するため、活動の一環として近隣の学校や福祉施設に訪問し、地域の方々と交流する機会を作るとともに、近隣施設のまつり等へ参加するなど、地域に根ざした活動を進めました。

また、実習生の受け入れや見学及びボランティアの活用を積極的に実施し、施設の事業や障がい者への理解を深めていただき、誰もが支援者になれる意識を持てるよう取り組みました。

VII 防災意識の向上

常に建物及び設備等の点検を行い、施設の安全管理に努めるとともに、消防機関の協力を得て、避難誘導訓練や初期消火訓練の実施と消防設備の適切な取り扱い方法を学び、職員及び利用者一人ひとりの防災意識の向上に努めました。

また、そよかぜの森消防計画に沿って、職員としての役割や基本行動を理解するとともに備蓄用品の確保をし、非常災害に備えました。

VIII 職員研修

各種研修会等へ積極的に参加し、的確な情報の把握や専門知識の習得に努めました。

また、研修で得た知識を共有するため、内部研修を実施し職員全体のスキルアップに繋がりました。

(生活介護事業)

(1) 利用者入退所状況 (平成31年3月31日現在)

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	知的障害が 入所者	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
知的障害が 退所者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
知的障害が 在所要者	15	15	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
重症心身障害が 入所者	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
重症心身障害が 退所者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
重症心身障害が 在所要者	11	11	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
在所要者合計	26	26	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28

※ 前年度未在所者数：21人

(2) 障害支援区分別 (平成31年3月31日現在)

(単位：人)

区分	区分3	区分4	区分5	区分6	合計	平均支援区分
知的障害が い者	0	5	5	6	16	
重症心身障害が い者	0	0	0	12	12	5.4
合計	0	5	5	18	28	

(3) 年齢別分布表 (平成31年3月31日現在)

① 知的障害が
い者

(単位：人)

年齢	性別						合計	平均年齢
	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～		
男性	1	3	1	3	1	0	9	34.7歳
女性	0	5	2	0	0	0	7	25.0歳
合計	1	8	3	3	1	0	16	32.0歳

※ 最少年齢19歳 最高年齢54歳

②重症心身障がい者

(単位：人)

年齢 ＼ 性別	18歳	20歳	30歳	40歳	50歳	60歳	合計	平均年齢
	＼	19歳	29歳	39歳	49歳	59歳		
男性	0	3	1	0	0	0	4	24.5歳
女性	2	5	1	0	0	0	8	22.2歳
合計	2	8	2	0	0	0	12	23.0歳

※ 最少年齢 19歳 最高年齢 34歳

(4) 送迎サービス利用実績

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度 合計
延べ 人数	372	369	218	231	251	239	270	294	330	332	329	361	3,596	2,855

(5) 入浴サービス利用実績

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度 合計
延べ 人数	36	28	37	34	40	26	36	33	29	30	28	31	388	135

(6) 医療的ケア実施状況

(単位：人)

内 容	人 数	前年度実績
喀痰吸引	5	2
経管栄養	5	3

(7) 主な活動状況

月	内 容
毎 月	<ul style="list-style-type: none"> ・エアロビクス (講師依頼) ・運動 (ラジオ体操、機能訓練、他) ・音楽療法 (講師依頼) ・歌、楽器演奏 ・園芸 ・カラオケ ・リラクゼーション (散歩、外気浴、足湯、スヌーズレン、他) ・アート (創作、絵画、壁面装飾、他) ・レクリエーション ・ウォーターレクリエーション (夏季)
6月・8月	外出 (煎餅焼き体験、越谷レイクタウン)

9月	つばさの森まつり参加、草加東高校文化祭参加
10月	外出(葛西臨海水族園) ハロウインパーティー
11月	柿木公民館まつり出展
12月	クリスマスパーティー
1月	初詣
3月	外食、お花見

(8) 年間行事

実施日	行事名
5月31日	1周年記念交流会
8月23日	夏祭り
2月5日	二十歳を祝う会

(9) ボランティア受け入れ状況

(延べ人数、単位：人)

月別 内容 活動ボラ ンティア	月別												合計		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
	4	5	1	4	7	7	7	7	11	11	9	7	8	4	81

(10) 見学者受け入れ状況

(単位：組)

月別 区分	月別												合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
見学者	2	0	1	3	0	1	1	3	0	0	1	1	13

(11) 実習生受け入れ状況

(単位：人)

月	日	学校・施設名	延べ人数
4月	23日	埼玉県立大学看護学科	5
6月	18日～8月28日	草加八潮准看護学校	82
2月	1日～3月28日	国際学院埼玉短期大学	50

(12) 外部研修

月	日	内容	人数
6月	5日・8日	埼玉県サービス管理責任者等研修Ⅱ	1
9月	4日		
10月	29日・30日		

7月13日	平成30年度くらし部会	1
7月30日	強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）	1
8月8日		
8月3日	発達障害の理解とその支援	1
8月21日～8月24日	障がい者スポーツ指導員養成研修会	1
9月10日・11日・14日 ・21日	強度行動障害支援者養成研修（実践研修）	2
9月26日	重症心身障がい者の意思決定支援と成年後見制度	3
9月27日・28日	レクリエーション・リーダー養成講習会	1
9月28日	自閉症、発達障害の理解と併存症状、周辺症状への理解	1
10月11日・12日	OJTスキルアップ講習会	1
10月18日	メンタルヘルス講習会	1
10月19日・26日	強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）	1
11月14日	文書管理と情報公開・個人情報保護制度について	3
11月2日	アセスメント技術を高める	1
11月22日	自閉症（ASD）者への支援	1
11月27日・28日	OJTスキルアップ講習会	1
11月28日	摂食嚥下講習会	1
12月2日	成年後見制度活用事例から学ぶ	2
1月9日	市町村における包括的な支援体制の整備について	1
1月11日	平成30年度くらし部会	1
2月19日	障害者虐待防止・権利擁護研修	1
2月27日・28日	自閉症支援専門研修	1
3月4日	強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）	1
3月18日	障害者虐待の未然防止及び早期発見	1

(13) 内部研修

月 日	内 容
4月	基本動作とリハビリテーション①
5月	基本動作とリハビリテーション②

7月	摂食支援の基礎知識	
8月	アンガーマネジメント	
9月	防災の意識を高めるために 個別支援計画について考える	
10月	事務文書の進め方	
11月	感染症～媒介者にならないために～	
12月	おもてなしと接遇	
2月	虐待防止への取り組み 糖尿病の基礎知識	
3月	障がい者を支える支援者として理解してほしいこと	

(14) 日中一時支援事業利用実績

(単位：日)

月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
知的障がい者	0	0	0	0	0	0	0	1	1
重症心身障がい者	0	0	1	2	4	3	0	2	12
合計	0	0	1	2	4	3	0	3	13